





446

阿保友一郎著

# 日本文法

桂雲堂藏版

藏書

東京大学

利  
446  
513

阿保氏日本文法序  
掛まのわ惶き我り

明治三年八月九日  
桂雲堂贈

桂雲堂

統城比明けく治まれる此大御代よ此大洲代と成りて  
爾來凡屬多事大政乃道之言より更なりて學に  
道技藝の道何此と多し関け行の様なる事其も直に  
將概たるを夫の言靈に事なふ國に己り自肆法  
氣の言ひ難きある此言の業は道よある有る之は  
夫の外國風を較ゆる年あてて三百年の程道程よ  
多し五百里の曉れん今其源究る論せん  
子高きを愈高く卑きを弥下り下り其中間小

序

桂雲堂藏版



宗と一後不可き法則なき也然れそ古學乃徒と  
只管ふ古風ふの泥み鄙風多るを專ふ今様ふは  
趨き天地の離れ多る如く甚と相當ける不固也  
けり然れや人の心を固く味ぬ者あり有れを近き  
頃ふ成り来ては彼れ大人此れ君と夫の西の國風的小  
倣ひて論せるも彼れ多る中一ふ法書も亦甚う一つ也  
夫何れは國ふは國內痛く亂るを彌果ふ治まる代と  
成りあんと為る際ふを四方ふ小さま一つに國出て来て  
然る後ふ大ある一つに國小統へ治まるを世に形勢の守  
あるふ萬つは事も斯る理ふ争ふを外も可き斯る

書やもの彼れより出て来はるを遠くぬ内ふ一つふ  
約まざる典籍の出て来たる也也らんか余阿保の  
君とを面識る友あり福や先頃夫の學士院を日本  
語學の事以論ひ一文世ふ布ける間ふ文を尋  
福れ一事は有るは斯く相識る交際とを  
成りふと然れを此文は遠く伊勢の國より採り来  
されて此序文は有るは己の拙き或る省く事  
斯くある

明治十五年三月 正五位 西 周

序



序

今の世のあまのこころをらんらん一かたは居居のつらさをぬき  
 たり一かたは心のちぢぬびよる方々の調なたり一かたは  
 世よりいふをの何れも世にいふをのたつてある西海の  
 風ありさるるあり一かたは行はるる水たよるる水こそ  
 阿ねおのつらけりいふをのありあり一かたはたよるる  
 よきよきと歌へたり一かたはあはれはれはれはれはれはれは  
 やうそを國へあはれはれはれはれはれはれはれはれはれは  
 一かたはあはれはれはれはれはれはれはれはれはれはれは  
 のやう一かたはあはれはれはれはれはれはれはれはれはれは



この世にたゞのちをきき守らば好むともあはききき  
あるは如く國の法は法のまらるる者今世に  
あふたれいつるよその格の目を引き用ぬる  
皆この世のつらき事一とをたると神は  
あはきききしよあはきき世のつらき事  
六中つらき事とてあはききあつこの  
みたよきとあはききあひたつらき事  
——ききこの世に——されとも  
あはききこの世のつらき事とてあはきき  
あはききこの世のつらき事とてあはきき  
あはききこの世のつらき事とてあはきき

生れを味とてあはききよび——ききのある——  
阿保氏のその世にける法は世にけり  
信じてのたらしぬびの世にけるこの世にける  
世にけるたらしぬびの世にけるこの世にける  
世よびらう用ぬるたらしぬびの世にける  
つらき事とてあはききあはきき——あはきき  
あはききこの世のつらき事とてあはきき  
あはききこの世のつらき事とてあはきき  
あはききこの世のつらき事とてあはきき

明治の十五年二月

堀秀成



日本文法  
叙  
一  
佳  
本  
學  
堂  
藏  
書

自叙

日本文法稿成ル。客アリ予ニ謂ヒテ曰ク。人民ノ  
氣力ヲ増シ國家ノ元氣ヲ養ハムトセバ宜ク我  
ガ國ノ學術ヲシテ特立セシメザルベカラズ。然  
ルニ子務メテ西洋ニ模擬ス。豈可ナラムヤト。予  
之ニ答ヘテ曰ク。否。其ノ知ラザル所ヲ諭スハ其  
ノ知ル所ヨリ導クノ入り易キニ如カズ。方今  
百般ノ事物皆洋風ヲ慕フ。就中學術尤甚シ。譯書  
棟ニ充チ譯語人口ニ溢ル。故ニ文典ニ於ケルモ  
八品詞或ハ十品詞ニ別チ之ニ名詞形容詞ノ名

日本文法  
叙  
一  
佳



ヲ附ス。是所謂<sup>レ</sup>知ル所ヨリ導クナリ。人ニ對シテ  
且尔乎波、曾乃也ノ名ヲ語レバ耳ヲ掩ヒテ走り  
助動辭接續辭ノ目ヲ擧グレバ手ヲ拱ジテ聽ク。  
是入り易ケレバナリ。惠子曰ク。說者ハ其ノ知レ  
ル所ヲ以テ其ノ知ラザル所ヲ諭シ人ヲシテ之  
ヲ知ラシムト。抑、予ノ文典ニ思<sup>レ</sup>ヲ凝ス<sup>レ</sup>茲ニ六  
七年。不慧ニシテ未<sup>レ</sup>譯語ヲ排脱スル<sup>レ</sup>能ハザル  
ハ遺憾ナキニアラザルモ數十歳ノ後復<sup>レ</sup>改作ス  
ル時機アラム。而ノ今日ノ作。譯語ヲ假用ストイ  
フモ敢テ國風ノ實相ヲ毀ルニアラズ。通化シテ

古法ヲ失フトイフニアラズ。亦可ナラズヤト。客  
唯々シテ去ル。嗟此ノ稿ノ成ル予輩一個ノ力ノ  
ミナラム。蓋吾ガ語學ノ師生川正香翁匡正スル  
所アリテ裨益ヲ受クル<sup>レ</sup>少ナラズ。次ギテ西  
周堀秀成二君ノ閱覽ヲ經教示ヲ蒙リテ又發ス  
ル所アリ。故予併セテ之ヲ卷端ニ叙シ敬ミテ其  
ノ厚意ヲ謝ス。明治十五年一月阿保友一郎洞津  
ノ寓居ニ識ス



日本文法凡例

一 我ガ皇國ノ文章。尙簡易ナル五十音ニテ著作  
 シ譯述シ往復スルノ時期ニ至ラバ。其ノ文  
 明ノ進度ニ一段ノ速力ヲ加ヘムモ亦料リ知  
 ルベカラズ。然レモ其ノ氣運ニ會スルヲ  
 得ズ。故ニ予暫今体文ノ文法書ヲ作ル。今体文  
 語ニ假名ヲ交ヘタルモノ  
 二 語テ所謂漢文崩ノ文ナリ  
 一 文法ニ四大綱アリ。一ニ字音格ト云ヒ二ニ語  
 格ト云ヒ。三ニ句格ト云ヒ。四ニ文格ト云フ。音  
 語論。句論。文章論ト  
 云フ。異ナラズ。字音格トハ何ゾ。假字ト假名  
 云フ。

日本文法凡例

桂雲堂藏版



云本字所謂漢ナドノ格是ナリ語格トハ何ゾ。或ハ体言。用言。助辭ト稱シ或ハ名詞。動詞。形容詞ナド、稱スルモノ是ナリ。句格トハ何ゾ。直說法。成就法。附說法ト稱シ。或ハ頂針法。好句法ナド、稱スルモノ是ナリ。文格トハ何ゾ。双関法。貫珠格。立柱分懸。一正一反ナドノ格是ナリ。以上四大綱ノ中。此ノ編ハ專語格ヲ説ク。

一文章ノ解剖最煩シクシテ難キモノヲ語格ノ分解トス。故ニ斯ニ丁寧反復シテ及リテ句格文格ノ為ニ餘地ヲ殘サズ。他日此ノ書ノ續編

ヲ述べ其ノ遺漏ヲ補フヲ得バ。始テ其ノ全形ヲ現スニ至ラム。

一字音格ハ語格ノ本ニシテ文典中欠キ難キモノ、如シ。然リ而メ今之ヲ省クユエハ蓋説アリ我ガ國近世ノ文。假字ヲ用ル所ハ唯用言ノ語尾ト助辭トノミ。其ノ他ハ盡漢字ヲ填ムル習慣ナリ是ノ故ニ文典ヲ著スニ字音格ヲ載セザレバ則可ナリ。苟モ其ノ之ヲ載セムトナラバ宜シク和漢ノ音韻ヲ併セテ陳述セサルベカラズ。和漢ノ音韻併セテ之ヲ陳述スルニ



至ラハ恐ラクハ許多ノ紙數ヲ占領シ。且其ノ急ナル語格ヲ忽ニシテ此ノ緩ナル音論ヲ味シクスル憂ヒアラム。是省クベキ一ノ一ナリ夫今時ノ文典ヲ著スモノ首トシテ字音格ヲ載スル所以ハ。他ニアラス。用言助辭ヲ正シクセムガ為ナリ。今語格ヲ陳述シ用言助辭ヲ論辨シテ之ヲ正シクス。則チ音論自其ノ中ニアリ是省クベキ一ノ二ナリ。英人ピネオ氏文典ヲ著スニ其ノ小文典ニ於テハ音論ヲ載セズ。英國モ亦言語ノ國ナラズヤ。文字ノ國支那ノ如キモノニ對シテ云

フ。然ルニ彼尚斯ノ如シ。是省クベキ一ノ二ナリ。  
一 文典ヲ學ブモノノ第一ニ要スル所ハ。解剖ノ鑿識力ヲ得ルニアリ。此ノ編。總論ヨリ各論ニ及ス。敢テ奇ヲ好ムト云フニアラス。早ク讀者ニ解剖ノ意ヲ萌サシメムガ為ナリ。  
一 代名詞ハ名詞中ノ一種ナリ。然ルニ別ニ之ヲ一項ニ掲グ疑問辭。命令辭ハ接續辭。感歎辭ト等位ヲ齊シクスベキニ。然ルニ今其ノ目ヲ招ゲズ。此ヲハ予ガ迷竇ノ未決セザル所ナレバ



暫存シテ後ノ學者ヲ俟タムトスルナリ。讀ム  
モノ其ノ統紀ナキヲ答ムルヲ勿レ。

一 形状辭ノ一項ヲ設クルハ。鈴木重胤氏ノ說  
ニ本ッキテ少シク愚考ヲ添ヘタルナリ。アリヲ  
動詞ナル變格ノ詞ヨリ除キシハ。釋氏義門ノ  
說ニ因ルナリ。自由來スル所アリ。予  
豈新奇ヲ  
好マムヤ。

一 後置辭。形状辭。助動辭。接續辭ノ類ハ編中ニ盡  
セリ。動詞。形容詞。副詞ハ附録此ノ書上中下ノ  
三卷ノ外ニ附録  
添一卷ヲニ其ノ大概ヲ載セタリ。特名詞  
語ノ謂漢

リ。字ナニ至リテハ。其ノ詞類ヲ畧シテ記セス。蓋  
是詞數ノ多クシテ數卷ノ能ク載スルヲ得  
ベキニアラザレバナリ。

一 後置辭。助動辭ナドノ意義ハ。一一之ヲ下卷ニ  
載スレド。名詞。動詞。形容詞。副詞ナドノ意義ニ  
於テハ之ヲ附録ニモ載セズ。此其ノ端ヲ發ク  
片ハ數冊子ノ能ク終フル所ニアラザルヲ以  
テナリ。讀ムモノ其ノ不倫ナルヲ答ムルヲ  
勿レ。

一 (側注)トハ側ヨリ書キ添フル謂ニシテ本文ハ



参考ニ備へ。或ハ本文ノ意味ノ及バザル所ヲ  
註釋セシモノナリ。

明治十四年五月

日本文法目録

卷ノ上

總論

名詞

有形名詞

無形名詞

名詞ヲ分ツ法

偽名詞ヲ除クベキ

代名詞

人代名詞



指示代名詞  
疑問代名詞  
關係代名詞

卷ノ中

動詞

四段ノ活キ  
四段ノ活キノ圖  
附五十音ノ圖  
一段ノ活キ  
一段ノ活キノ圖

中二段ノ活キ  
中二段ノ活キノ圖  
中二段ノ俗言  
下二段ノ活キ  
下二段ノ活キノ圖  
下二段ノ俗言  
變格ノ活キ  
變格ノ圖  
合成第一格ノ活キ  
合成第一格ノ圖



合成第二格ノ活キ

合成第二格ノ圖

合成第三格ノ活キ

合成第三格ノ圖

動詞ノ法

連用言

連用言ノ誤謬

截斷言

截斷言ノ誤謬

連体言

連体言ノ誤謬

以上ノ三法ヲ合セ論ズ

命令言

命令言ノ誤謬

動詞ノ時

現在

第一過去

第二過去

第二過去ノ誤謬

第三過去



第一未來

第二未來

動詞ノ自他

第一種自動ノ詞

第一種ノ圖

第二種他動ノ詞

第二種ノ圖

自他ノ誤謬

第三種他動ノ詞

第三種ノ圖

第四種受動及ビ自動ノ詞

第四種ノ圖 其一

第四種ノ圖 其二

尊稱動詞

自他兼用ノ動詞

受動詞尊稱動詞ノ誤謬

卷ノ下

形容詞

形容詞ノ圖

第一種ノ詞



桂葉堂藏書

第二種ノ詞

第三種ノ詞

形容詞ノ誤認

副詞

副詞ノ圖

第一種ノ詞

第二種ノ詞

第三種ノ詞

第四種ノ詞

第五種ノ詞

第六種ノ詞

第七種ノ詞

副詞ノ誤認

後置辭

後置辭ノ釋義及ビ用法

後置辭重用ノ例

用言ヲ承クル後置辭

形狀辭

形狀辭ノ圖

第一種ノ辭



掛雲堂藏

第二種ノ辭

第三種ノ辭

第四種ノ辭

第五種ノ辭

第六種ノ辭

第七種ノ辭

助動辭

動詞ノ第一轉ヲ承クル辭

動詞ノ第二轉ヲ承クル辭

動詞ノ第三轉ヲ承クル辭

動詞ノ第四轉ヲ承クル辭

助動辭活動ノ圖

接續辭

感歎辭

附錄

詞類

動詞ノ部

形容詞ノ部

副詞ノ部

日本文法目錄終ル

圭雲堂藏





日本文法卷ノ上

伊勢 阿保友一郎



總論

夫文章ハ言語ノ記號ナリ。若規矩ナキ片ハ。彼此  
相ト通ゼズ前後互ニ傳フベカラズ。是ノ故ニ文  
章ヲ效フモノハ。必先<sup>ス</sup>章句ヲ分解スルニ規矩ヲ  
用井規矩ニ循ヒテ誤謬ヲ正サミルベカラズ。然  
リ而ノ其ノ引證スル所ノ章句異糺ニシテ其ノ  
照準スル所ノ規矩一定ナラザルキハ。是亦憫乎

桂雲堂藏



トメ其ノ是非ヲ判ツテ能ハズ。予今今体文ヲ引  
用シ。一定ノ規矩ヲ執リテ一体ノ章句ヲ分解シ。  
因リテ以テ初學ノ徒ヲシテ更ニ其ノ歸宿スル  
所ヲ知ラシメムトス。分解トハ何ゾ。第一ニ名詞。  
代名詞。動詞。形容詞。副詞。後置辭。形狀辭。助動  
辭。接續辭。感歎辭ノ十品詞ニ分解スルヲ云  
フ。乃左ノ例ノ如シ。

地球ハ遊星ナリ。

地球遊星ハ名詞ナリ。ハハ後置辭ニシテ地球ニ  
從ヒテ其ノ主語ノ係ヲ示シナリ。ハ形狀辭ニシ

テ從語ヲ承ケテ遊星デアルルト其ヲ解釋セシ  
リ。

暑キ時ハ草木茂ル。

暑キハ形容詞ニシテ名詞ノ時ヲ形容シ。茂ルハ  
動詞ニシテ名詞ナル草木ノ活ヲ顯ス。

彼ハ早ク業ヲ卒ヘテ家ニ歸ラム。

彼ハ代名詞ナリ。早クハ副詞ナリ。動詞ヲ形容ス  
ルナリ。卒ヘハ動詞ニシテ具連用言ナレバ。テノ

接續辭ヲ隔テ、歸ラムノ動詞ニ連ルナリ。ムハ  
助動辭ナリ。ニヲハ後置辭ナリ。業家ハ名詞ナリ。



善キカナ問フ。

善キハ形容詞ナリ。カナハ感歎辭ナリ。問フ素動詞ナレド、得テ半名詞ノ状ヲ装ヒタリ。此ノ句ノ意ハ問フヲ善キカナト形容シテ賛歎スルナリ。

(測注) 我が國從前ノ分解法ニテハ、体言、用言、助辭ノ三項ヲ以テ世上百般ノ言語ヲ分解セリ。其ノ法至テ簡易ニシテ盡セリト謂フベシ。今初學ノ為ニ三項ノ要ヲ摘採シテ之ヲ知ラサ

ムトス是亦少補ナキニアラズ。体言、事物ノ名目ナリ。体言ハ語尾ノ變化ナキモノナリ。語尾ノ變化ナキモノトハ例ヘバ体言ノトリ(鳥)ヲバトリトノミ言ヒテ彼ノ用言ノ如クとらむトリとるとれトハ活動セズ。体言ノ如ク(床)ヲバウクトノミ稱ヘテ。彼ノ用言ノ如クウむウきウけトハ稱ヘズ。是ヲ以テ体言ト名クルナリ。之ヲ今体文ニ使用スルハ鳥床ナド、漢字ヲ用サテ。鳥床カ或ハ鳥床ナド、ハ語尾ニダモ送假



名ヲ用井ザルヲ慣例トス。

用言。用言トハ体言ニ反シテ常ニ語尾ノ變

化ヲ有ツモノナリ。体言ニ從ヒテ事物ノ動作

ト形状トヲ寫ス詞ナリ。之ヲ近体文ニ使用ス

ル氏ニハ漢字ニ語尾ヲ附ケ取ラム取リ取ル

取レ行カム行キ行ク行ケト記載スルヲ慣例

トス。

助辭。助辭トハ体言ト用言トヲ彌縫シ或ハ

扶助シテ以テ趣意ヲ達セシムルモノナリ。是

ノ故ニ之ヲ助辭ト名クルナリ。之ヲ今体文ニ

使用スルニモ仍舊時ノ如ク假名書ニスルヲ

慣例トセリ。

試ニ本文ノ句話ヲ借リテ之ヲ分解スレバ。地

球。遊星。時。草木。彼。業。家。ハ体言ナリ。暑キ。茂ル。早

ク。卒へ。歸テ。善キ。問フ。ハ用言ナリ。ハ。ナリ。ヲ。テ。

ニ。ム。カナ。ナドハ助辭ナリ。

名詞

名詞トハ天地間ニ存スル事物ノ名目ナリ。之ヲ  
大別シテ有形無形トス。有形名詞ハ固ヨリ体言



ナルモノナリ。無形名詞ハ固有ノ体言ナルノミ  
ナニズ。用言ヨリ變ジテ体言ト成レルモノアリ。  
然レビ名詞ト名ヅクルニハ。其ノ原因ノ何ナリ  
ト云フヲ論ゼズ。凡テ是体言ナルモノヲ指ス  
ナリ。

有形名詞

有形名詞ハ。其ノ單一ナルト集合ナルトニ拘ラ  
ズ。凡テ形アル物ヲ名ヅケタルナリ。乃其ノ單一  
ナルモノニテハ。  
日。月。雲。雨。山。川。人。獸。鳥。

虫。魚。草。木。家。橋。

ナドノ如シ其ノ集合ナルモノハ。  
秋月。浮雲。南山。大人。石橋。福壽草  
東洋人。全權公使。太政大臣。  
ナドノ如シ

(側注)有形名詞ニハ訓讀スベキモノアリ音讀

スベキモノアリ。訓讀トハ國語ヲ云ヒ。音讀  
訓兼用スベキモノアリ。凡テ有形名詞ハ音訓  
ニ拘ラズ語尾ニ假名ヲ添ヘザルモノナリ。乃  
鳥ヲ鳩ウ。或ハ鳥リ。ト書クベカラザルガ如シ。



訓讀トハ何ゾ。例スルニ鳥カ飛ブト云ヘル句  
 ニテ鳥ヲ「ウ」ト音讀セバ音調惡シカラム。故  
 ニ之ヲ訓讀ト謂フ。音讀トハ何ゾ。音訓兼用ト  
 ハ何ゾ。東洋人ト云ヘル語ニテ。訓讀ヲ用井テ  
 「E」ガシナダビトト讀ムモノ未ダ之アラズ。故ニ  
 之ヲ音讀スベキ名詞ト謂フ。富貴ハ浮雲ノ如  
 シト云ヘル句ニテ浮雲ヲ「フウ」ト音讀スル  
 モウキク「モ」ト訓讀スルモ更ニ音調ノ惡シキ  
 「フ」ヲ覺エズ。故ニ之ヲ音訓兼用ノ名詞ト謂フ  
 ナリ。

無形名詞

無形名詞トハ人ノ思想ヨリ模擬セル無形ノ事  
 物ニ名目ヲ附シタルナリ。蓋此ノ名詞ニ体言ナ  
 ルモノアリ。假体言ナルモノアリ。体言ノ無形名  
 詞トハ。

仁。	義。	智。	勇。	禍。	福。	善。	惡。	賢。	愚。
政。	德。	以上	單一						
仁澤。	大義。	明智。	強勉。	發明。					
ナドノ	如シ。	假体言ノ	無形名詞トハ。						
行 <sub>キ</sub> 。	問 <sub>ヒ</sub> 。	喜 <sub>ビ</sub> 。	樂 <sub>シ</sub> 。	苦 <sub>シ</sub> 。	戾 <sub>リ</sub> 。	試 <sub>シ</sub> 。	恨 <sub>ミ</sub> 。	老 <sub>シ</sub> 。	飢 <sub>ヒ</sub> 。

以上集合ノ



ナドノ如シ。假体言トハ何ゾヤ。用言ヨリ變ジテ体言ト成リシモノナリ。

(側注)用言。變ジテ体言ト成リシトハ。乃チ動詞活用圖第二轉ヨリ變化セシナリ。活用圖第二轉トハ乃チ行カム。行キ。行ク。行ケ。問ハム。問ヒ。問フ。問ヘ。樂マム。樂ミ。樂ム。戻ラム。戻リ。戻ル。戻レ。以上四段ノ行キ。問ヒ。戻リ。試ミ。試ミル。試ミレ。一段ノ恨ミム。恨ム。恨ムル。恨ムレ。恨ムル。恨ムレ。老イム。老イ。老ユ。老ユル。老ユレ。二段ノ

段ノ飢エム。飢エ。飢ウ。飢ウル。飢ウレ。下二段ノドノ試恨老飢ニ於ケル。何モ第二轉ヨリ變化セザルハナシ。委ラシクハ動詞ノ又。富ト貴トハ是人ノ欲スル所ナリ。貧ト賤トハ是人ノ惡ム所ナリ。遠ヲ柔ケ。適ヲ懷ケ直ヲ以テ怨ニ報ズ。ナドノ貴貧賤遠適直ハ形容詞變ジテ名詞ト成ルモノ、如シ。然レ也。細ニ之ヲ考フレバ。本ト貴キ(一)貧キ(一)賤キ(一)遠キ(モノ)適キ(モノ)直キ(一)トアルベキニ沿習ノ久シキニ及ビテ終ニモノトノ助辭ヲ畧



セシナラムカ。古訓点(管原点論語)ナドニ其ノ

例アリト雖。常典ト為スベカラズ。初學ノ徒之

ヲ畧スル可ナリ。尚形容詞ノ所

假体言ノ名詞ハ何ヲ以テ用言ト分別スルヲ

得ル。後置辭ノ随ヒタルニ因リテ之ヲ別ツナリ。

其ノ例

行<sub>キ</sub>ト戻<sub>リ</sub>ト。

問<sub>フ</sub>ヲ失<sub>ス</sub>。

喜<sub>ム</sub>ノ餘<sub>リ</sub>。

樂<sub>ム</sub>ト苦<sub>ム</sub>ト。

試<sub>ム</sub>ノ場。

恨<sub>ム</sub>ヲ抱<sub>ク</sub>。

老<sub>シ</sub>ノ友。

飢<sub>ユ</sub>ヲ忍<sub>ブ</sub>。

ナドノ如シ。右ノ句中ノヲトニハ後置辭ナリ。故

ニ其ノ上ニ在ル所ノ詞ハ名詞ナリトス。又假体

言ナル名詞ハ宜シク語尾ノ假名ヲ細クスベシ。

○此ノ外ニ形状ノ意アル一種ノ名詞アリ。毎ニ

訓讀ニシテミサゲノ語尾ヲ存スルモノトス。乃

高<sub>ク</sub>廣<sub>ク</sub>深<sub>ク</sub>高<sub>ク</sub>厚<sub>ク</sub>淺<sub>ク</sub>深<sub>ク</sub>哀<sub>シ</sub>樂<sub>シ</sub>ナドノ類ナリ。之ヲ例スル

ニ

堂ノ高<sub>ク</sub>數尋。溝ノ深<sub>ク</sub>幾尺ゾ。板ノ厚<sub>ク</sub>五分。

ナドノ如シ。

名詞ヲ分ツ法

人民ノ事情。書翰ノ往復。地ノ高低。高山



流水ノ曲。着物ヲ縫フ。弓張ノ提燈。

右ノ句中ニ就キテ人民。往復。高低。高山。流水。着物。弓張。ナドノ熟語ヲ拾ヒ國語モテ訓讀シ。且其ノ原意ヲ推究スルハ。人民ハヒト。タミ。ト云ヘルニノ名詞ヨリ成リ。往復ハユキ。カヘリ。ト云ヘルニノ假体言ト云フモ可ナリ。ヨリ成リ。高低ハタカ。ビク。ト云ヘル形状ノ意ヲ含メル無形体言ヨリ成リ。高山ハタカキ。ト云ヘル形容詞ト。ヤマト云ヘル名詞ヨリ成リ。流水着物ハナガレ。キ。ト云ヘル假体言所謂動詞ト。ミヅ。モノ。ト云ヘル名詞

ヨリ成リ。弓張ハユ三。ト云ヘル名詞ト。ハリ。ト云ヘル假体言同ヨリ成リテ其ノ根源種種ニ別カレタリト雖。一タビ漢字ヲ連接シ假字ヲ中間ニ加ヘズシテ之ヲ音讀又ハ訓讀セシムル以上ハ。文法ニ於テ名詞ト定稱スルモノト知ルベシ。之ヲ法トス

(側注)假字ヲ中間ニ加ヘテ訓讀セシムトハ蓋高山ヲ高キ山ト書クガ如キモノヲ謂フ。此ノ所ニテハ山ヲ名詞トシ高キヲ形容詞ト名ケサルヲ得ズ。



○名詞ハ後置辭ヲ從フルニ因リテ。又之ヲ辯チ知ル<sub>レ</sub>ヲ得ベシ。之ヲ例スルニ。

德ヲ以テ德ニ報ズ。先王ノ道モ斯ヲ美シトス。東京ヨリ西京マデ。遠方ヘ行ク。

ナドノ句中。徳先王道。東京西京。遠方ハ名詞ニシテ斯ハ代名詞ナルガ如シ。代名詞ハ名詞其ノヲニノモヨリマテハ後置辭ナルガエナリ。法第二

○名詞ハ助辭或ハ送假名ナシニ存在スルニ因リテ又辯チ知ル<sub>レ</sub>ヲ得ベシ。之ヲ例スルニ

弟子入りテハ則チ孝アリ。君子ハ食飽カム<sub>レ</sub>

ヲ求ムル<sub>レ</sub>ナシ。終日違ハズ。三年父ノ道ヲ改メズ。名正シカラザル<sub>レ</sub>ハ則チ言順ハズ。

言順ハザル<sub>レ</sub>ハ則チ事成ラズ。事成ラザル<sub>レ</sub>ハ則チ禮樂興ラズ。禮樂興ラザル<sub>レ</sub>ハ則チ刑罰中ラ

ズ。刑罰中ラザル<sub>レ</sub>ハ則チ民手足ヲ措ク所ナシ。ナドノ句中ニテ弟子。食。終日。三年。名。言。事。禮樂。刑

罰。民ハ名詞ナリ。助辭ノ隨從セザルニ因リテ之ヲ證スル<sub>レ</sub>ヲ得ベシ。法第三

(側注)其ノ他。君子。孝。父。道。手足。ナド。名詞ナレド。

第三法ノ例證ニ取り難シ。故ニ數ヘズ。



偽名詞ヲ除クベキト。

偽名詞トハ何ゾヤ。他詞ノ名詞ニ混ズルモノヲ云フ。乃チ動詞ニ語尾ヲ添ヘズシテ名詞ニ混ゼシメ。形容詞ニ形状辭ヲ欠キテ名詞カト疑ハシムルガ如キ類ナリ。語ニアリ似テ非ナルモノヲ惡ムト。宜シク戒慎ヲ加フベキナリ。

動詞ノ名詞ニ混ズルモノ。

例ヘバ。暴虎憑河死シテ悔ナキモノハ吾ハ與ニセズ。自尊自重天下ト憂樂ヲ共ニスル所ノ氣象ヲ養ハシムルニアリ。

ナドノ句中ニテ暴虎憑河シテ。自尊自重シテ。ト書カザル片ハ名詞ニ混ズベシ。此ノ所名詞ト為リテハ通ゼズ。宜シク(左行變格ナル)動詞ノ詞ヲ添ヘ動詞ニ變化シテコソ始メテ文意ノ達スルトヲ得ルナレ。左行變格ナル動詞ト又左ノ數句ヲモ此ニ準ジテ其ノ誤ヲ正スベシ。

門ヲ開キテ突出。我が軍敗績シ死亡殆盡キ僅ニ六騎ヲ餘ス。鯨濤山立一瞬覆没。幾何カ其魚鼈ニ笑ハレザラムヤ。政令百端朝出暮改。政刑情實ニ成リ賞罰愛憎ニ出ヅ。奮發激

桂雲堂藏



勵其ノ未<sup>タ</sup>知ラザル所ヲ知ル。

試ニ此ノ數句ノ誤ヲ正セバ左ノ如シ。突出ス。

死亡シテ殆<sup>ト</sup>盡キ。鯨濤山立シ一瞬ニ覆没シ

テ。或ハ鯨濤山ノ如ク立テ一瞬ニ覆没シテ

トモ政令百端ニシテ朝出暮改ム。奮發激勵シ

テ。ナド。

又

血戰十六合。盡其ノ騎ヲ亡<sup>ス</sup>フ。尊氏觀望一日

ニアラズ。猶豫頗多シ。

右ノ句。血戰スル<sup>ル</sup>十六合。觀望スル<sup>ル</sup>一日

ニアラズ。猶豫スル<sup>ル</sup>頗久シ。ニ作ラザレバ。

動詞ノ状ヲ為サズシテ名詞ニ混雜スル<sup>ル</sup>ノ患

アリ。形容詞及ビ副詞ノ名詞ニ混ズルモノ。

遠近騷然。孜孜汲汲勉<sup>ム</sup>ル<sup>ル</sup>片ハ。

右ノ句。遠近騷然タリ。孜孜汲汲トシテ勉<sup>ム</sup>

ル<sup>ル</sup>片ハ。ト為スベシ。蓋タリタルノ形状辭ノ存

スルハ是形容詞ノ證ニシテトシテノ存スルハ

是副詞ノ證ナリ。若此ノ者ナキ片ハ其ノ形容詞

副詞タルモノ。名詞ニ混ズル患アリ。戒<sup>メ</sup>テ除却

スルハ是形容詞ノ證ニシテトシテノ存スルハ



スベキナリ。又左ノ數句モ此ニ準ジテ正ス  
ヲ得ヘシ。

都下恟恟。人口籍籍。林林總總億兆ノ人民。

郁郁乎文ナルカナ。顔淵喟然嘆ジテ曰ク。

子路率爾對ヘテ曰ク。

試ニ此ノ誤ヲ正セバ左ノ如シ。都下恟恟タリ。

人口籍籍タリ。林林總總タル億兆ノ人民。

郁郁乎トシテ文ナルカナ。喟然トシテ嘆ジ

テ曰ク。率爾トシテ對ヘテ曰ク。ナド。

代名詞

代名詞ハ名詞ノ屬類ニシテ其ノ軌。名詞ニ異ナ  
ラズ。唯人名。物名。及ビ事情ナドヲ指シ示シテ其  
ニ代ル所アルヨリ。之ヲ代名詞ト稱シテ區別ス  
ルナリ。是ノ故ニ其ノ語格モ亦名詞ノ法則ニ準  
ジテ。助辭ナシニ存在スルヲ得ベク。或ハ後置  
辭ヲ從フルヲ得ベシ。  
助辭ナシニ存在スルモノトハ何ゾ。後置辭ヲ從  
フルモノトハ何ゾ曰ク甲ハ。吾何ソ彼ヲ。畏レ  
ムヤ。ト云ヘル句中ノ吾。富ト貴トハ是人ノ欲



スル所ナリ。ト云ヘル句中ノ是ナドノ如ク。シハ。彼ハ其ノ富ヲ以テシ。我ハ吾ガ仁ヲ以テス。ト云ヘル句中ノ彼。其。我。吾。ナドノ如シ。代名詞ハ本々名詞ノ重複シテ煩雜ナラムトノ弊ヲ除クガ為ニ設ケタル語格ナレド。時ニ臨ミテハ代名詞多クシテ之カ為ニ彼我ノ別ヲ見分チ難キホドノトアリ。夫斯ノ如クナル片ハ代名詞ノ効能甚淺薄ナルモノナリ。學者之ヲ敬メ。代名詞ノ記載法。其ノ此。味ノ。吾ガ。ナドハハガノ後置辭ヲ書キ。其此。彼。語。ナドハレノ假字ヲ

書カズ。其ノユエハ蓋そのこのわが。ナドノの。後置辭ナレド。それ。これ。かれ。われ。ナドノレハ一語中ノ音ニシテ特別ニ離スベキモノニアラザレバナリ。代名詞ニ四種アリ。人代名詞ト云ヒ。指示代名詞ト云ヒ。疑問代名詞ト云ヒ。關係代名詞ト云フ。人代名詞

人代名詞

人代名詞ハ人ノ名ニ代ルモノナリ。乃自分ノ事ニ吾ト稱シ。相手ノ名ノ代ニ汝ト呼ビ他人ノ名ノ代ニ彼ト云フナドノ類ナリ。其ノ例左ノ如シ。



吾何ソ彼ヲ畏レムヤ。吾ト汝ト之アルカ。  
人代名詞。我吾余已某ナドハ自分ニ稱スルナ  
リ。汝ハ相對スルモノヲ呼ビ。彼ハ他ヲ指シテ云  
フ。

(側注)大略我ハ先方ヘ對シテ云フ。相手向ノ稱  
ナリ。吾ハ吾ガ身一分ニ付キテ云ヒ。又親シク  
云フニ用ル。其ノ例。我吾ガ三軍ヲ張り吾ガ  
甲兵ヲ被リ云々ト云ヘルガ如シ。己ニ對シテ  
人ヲ用ルヲアリ。人ノ己ヲ知ラザルヲ患  
ヘズ。ナドノ如シ。其ノ他余予ハ吾ヨリハ  
意狭シ自稱ノ言ナリ。

子。子貢ニ謂ヒテ曰ク。汝ト回ト孰カ愈レル。對  
ヘテ曰ク。賜ハ何ゾ敢テ回ヲ望マム。回ハ一ヲ  
聞キテ以テ十ヲ知ル。賜ハ一ヲ聞キテ以テ二  
ヲ知ル。  
此ノ章ニ就キテ代名詞ヲ論ゼバ。孔子ガ子貢  
ヲ呼ビテ汝ト云ヒ。孔子自吾ト稱セシナリ。試  
ニ此ノ章ヲシテ。子貢ニ顔回ノ事ヲ語り  
テ曰ク。汝ト彼ト孰カ愈レル。對ヘテ曰ク。賜ハ  
何ゾ敢テ彼ヲ望マム。彼ハ一ヲ聞キテ以テ十  
ヲ知ル。云々ニ作ラシメバ。彼ノ字ハ顔回ノ



代名トナルナラム。凡、斯ノ如キ所ヲバ。近時ノ  
 文典家ハ位地或ハ人稱ヲ用井テ區別スル  
 アリ。其ノ法ハ吾ヲバ上位地(或ハ一人稱)ト名  
 ケ。汝ヲバ中位地(或ハ二人稱)ト名ケ。彼ヲバ下  
 位地(或ハ三人稱)ト名クルナリ。然レ此ノ事。  
 徒ニ述ブルキハ。虚シク煩擾ヲ増スノミニシ  
 テ其ノ益少シ。是ヲ以テ姑之ヲ畧シス。  
 天子ニ陛下ト稱シ奉リ。三公以上ヲバ殿下ト  
 稱シ。大官ヲ閣下ト稱ス。尊卑ニ通稱シテ臺下  
 ト稱シ。執事ト稱ス。同輩相ヒ呼ビテ足下吾子

ト稱シ。貴君貴殿ト稱シ。君或ハ公ト稱ス。武官  
 ニハ麾下ト稱シ。和尚ニハ侍者ト稱ス。不佞不  
 肖ハ自謙遜スル詞ナリ。拙者僕私ナドハ書翰  
 ニ用ル自稱。妾トハ婦人自稱スル詞ナリ。凡、此  
 ノ類。數多ケレバ。又之ヲ畧シヌ。

指示代名詞

指示代名詞ハ。事物ヲ指シ示ス為ニ用ル詞ナリ。  
 此、其、是、ノ、其、ノ、ナドノ類ヲ謂フ。上ヲ指スモノア  
 リ。直ニ下ヲ指スモノアリ。上ヲ指スモノトハ。  
 富ト貴トハ。是人ノ欲スル所ナリ。民棄テ、



保タズ。天之ニ咎ヲ降ス。此ニ由リテ之ヲ視  
レバ。是ニ由リテ之ヲ觀レバ。遠人ノ其ニ  
從ヒテ學ブモノ。

ナドノ是之此其ノ指示代名詞ヲ云フナリ。下ヲ  
指スモノトハ。

是ノ日ヤ天朗ニ氣和ス。天ノ此ノ民ヲ生ズ  
ル。疾アル。其ノ身正シキハ。斯ノ人ニシテ斯ノ  
疾アル。

ナドノ是此夫斯其ノ指示代名詞ヲ云フナリ。  
指示代名詞。此此ノ是是ノ之斯ノ其其ノ夫ノ

ナドノ類ナリ。

側注此ハ外面ヨリ指スナリ。是ハ其ノ内部ノ  
様子ヲ云フナリ。斯ノハ是人筋合ト云フ意ニ  
テ。此是ヨリハ一層重シ。夫ノハ彼處ノ者ヲ指  
スナリ。

疑問代名詞

疑問代名詞ハ事物ヲ尋ネ問フニ用ル詞ナリ。  
阿誰ナドノ類ヲ云フ。每ニゾカゾヤノ後置辭  
ニ接スルモノ多シ。縦直ニ接セザルモ必詞ヲ隔  
テ、接セズト云フナシ。蓋其ノ然ルユエハゾ



本要堂藏

ハ事物ヲ指ス辭ニシテカヤハ事物ヲ疑ヒ問フ  
辭ナレバナリ左ニ其ノ例ヲ掲グ。

何スレゾ其然ル。禮トハ何ゾヤ。何ゾヤ。爾

ノ謂フ所ノ達ハ。何ノ謂ゾヤ。何ト謂フ

ゾ。何スレゾ其然ル。伯夷叔齊ハ何人ゾ。

吾何ヲカ執ラム。誰ガ為ニ之ヲ為シテ孰ニ

カ之ヲ聽カシテム。車幾兩ゾ馬幾匹ゾ。

其ノ牧養スル所ノモノ幾何人ゾ。賜ハ何カ如

易牙ハ如何。吳起ハ何如ナル人ゾヤ。

又疑問代名詞ハ第四轉ナル動詞ヲモ截断スル

トアリ。蓋其ノ然ルユエハゾカノ後置辭ニ連合

スルヲ以テナリ。乃左ノ例ノ如シ。尚後置辭ノ所

何スレゾ此ニ至レル。弟子誰カ學ヲ好ム

ヲスル。師ト商ト孰カ優レル。

側注至レル優レルハ合成第一格ノ詞ニテス

ルハ左變ノ詞ナリ。何モ動詞ニテ第四轉ノ活

キ詞ナリ。

疑問代名詞。何誰孰幾幾何何如何如何ナドノ類

ナリ。

側注誰ハ其ノ人ヲ審ニセザルヨリ問フ詞。孰

本要堂藏



ハドノ様ナモノガト云フ意。幾幾何共ニ物ノ  
多少長短ヲ問フ詞。何如ハドウ云フ譯ゾト問  
フ意。如何ハイカミ致サウゾト相談スル意ナ  
リ。

關係代名詞

關係代名詞ハ。詞或ハ句ノ中間ニアリテ。前後ニ  
關係シテ連結スル所ノ詞ナリ。其ノ例。  
其ノ厚クスル所ノ者ハ薄クシテ其ノ薄クス  
ル所ノ者ハ厚キ。未之アラジ。人。其ノ忘ル  
所ヲ忘レズシテ。其ノ忘レザル所ヲ忘ル。此

ヲ誠ニ忘ルト謂フ。此天地ノ大ナル所以ナ  
リ。信知ハ人ノ立ツ所以ナリ。慢易ハ禮ノ  
失スル所以ナリ。怠惰ハ時ノ後ル、所以ナリ。  
ナドノ如シ。

關係代名詞。所所以ナドノ類ナリ。  
法則。所所以ノ關係代名詞ハ第四轉ノ動詞。形  
容詞。形狀辭ヲ承ク。

(側注) 所ハ場所ト云フガ如シ。所以ハエエニ同  
シ。縁故ノ意ナリ。句中ニアリテ一層ヲ推シ進  
ムル運用ヲ為セリ。スル立ツ忘ル、失スル後



ル、ハ動詞ノ第四轉ナリ。ナルガルハ形状辭ノ第四轉ナリ。

日本文法卷ノ上終ル

日本文法卷ノ中

伊勢 阿保友一 著ス

動詞 言ト名ク

動詞ハ名詞ニ從ヒテ事物ノ動作ヲ顯ス為ニ用ル。詞ニシテ其ノ用至テ廣大ナリ。動詞ニハノ語格アリ。乃四段一段。中二段。下二段。變格。合成第一格。合成第二格。合成第三格。是ナリ。

四段ノ活キ

四段トハ何ゾヤ。五十音ノ第一音ヨリ第四音マデ。縦ニ四段ニ活クヲ以テ四段ト云フナリ。加行



ニテカキクケト活キ左行ニテサシスセト活キ  
 多行ニテタチツテト活キ波行ニテハヒフヘト  
 活キ麻行ニテマミムメト活キ良行ニテラリル  
 レト活クナリ。此ノ格ノ詞ハ加左多波麻良ノ六  
 行ニアリテ阿奈也和ノ四行ニナシ。

四段ノ活キノ圖

多行	左行	加行	第一轉	第二轉	第三轉	第四轉	第五轉
抑 タム	寫 サム	行 カム	行 カム	行 キ	行 ク	行 ク	行 ケ
打 チ	寫 シ						
打 ツ	寫 ス						
打 ッ	寫 セ						

波行 言ハム言ヒ 言フ 言フ 言ヘ  
 麻行 住マム住ミ 住ム 住ム 住メ  
 良行 去ラム去リ 去ル 去ル 去レ  
 右ノ圖中第一轉ニアルムハ何ゾ。曰ク助動辭ナ  
 リ。何ニ由リテカ助動辭ヲ第一轉ノミニ置ケル。  
 曰ク四段第一轉ニ限リテ助動辭ヲ添ヘザレバ  
 ユ<sup>床</sup>カウツサウタイ<sup>歌</sup>ハス<sup>岩</sup>マサ<sup>隅</sup>ラト成リテ全キ動  
 詞ト成ルヲ得ズ。是ノ故ニ助動辭ヲ置ケルナ  
 リ。蓋行カムナド、ムノ添フノミナラズ。行カバ  
 行カズ行カヌ行カザル行カザレナド、バズヌ

日本文法卷ノ中

本堂藏版



ザルザレノ接續辭形状辭悉此ノ第一轉ノ詞ニ  
附キテ之ヲ補綴スルアリ。尚詳ナルハ助辭  
ノ條中ニ於テ之ヲ説カム。

(側注)五十音第一音トハ阿横行ヲ言ヒ第二音  
トハ伊横行ヲ言ヒ第三音トハ宇横行ヲ言ヒ  
第四音トハ衣横行ヲ言フ。又加行トハカキク  
ケコノ縦行ヲ言ヒ左行トハサシスセソノ縦  
行ヲ言フ。左ノ圖解ニ因リテ之ヲ推シ知ルベ  
シ。

五十音ノ圖

阿行	加行	左行	多行	奈行	波行	麻行	也行	良行	和行
ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ
イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	イ	リ	井
ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ユ	ル	ウ
エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	エ	レ	エ
オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ヨ	ロ	ヲ

○阿行ハ母韻ナリ。也行ハ  
イトアイウエオト重レル  
二重母韻ナリ。和行ハウト  
アイウエオト重レル二重  
母韻ナリ。其ノ他ハ子音ナ  
リ。

○阿縦行ニ活語(乃用言ナ  
シ。阿横行ノアヤワノ三音  
ニ活語ナキノミナラズ。カ  
サタナハマラノ七音ニモ



真誠ノ活語ナシト謂ヒテ可ナリ。其ノ故ハ助  
 辭ヲ得テ活動スルバカリナレバナリ。又於横  
 行ニテモ来ノ一語ノ外活語アルナシ。  
 ○良行ハ阿行ノ反對ニテ詞ノ上ニ附カズ。唯  
 詞ノ下ニ附着シテ活用ヲ助クルバカリナリ。  
 此ヲノ説初學ノ徒記  
 臆セザルモ可ナリ。

一段ノ活キ  
 一段トハ何ゾヤ。五十音ノ第二音一段ノミ活ク  
 ヲ以テナリ。乃加行ニテハキキルキレ奈行ニテ  
 ハニニルニレ波行ニテハヒヒルヒレ麻行ニテ

ハミミルミレ也。行ニテハイルイレ和行ニテ  
 ハ井井ル井レト活ク類ナリ。此ノ詞ハ加奈波麻  
 也和ノ六行ニアリテ阿佐多良ノ四行ニナシ。讀  
 者一段ノ謂ヲ了解セムト欲セハ試ニるれノ文  
 字ヲ省キテ之ヲ視ヨ乃其ノ真ヲ見ルニ至ラム。

一段ノ活ノ圖

波行	奈行	加行	第一轉
テ	似	着	第二轉
テ	似	着	第三轉
テ	似	着	第四轉
テ	似	着	第五轉



日本文法卷ノ中

桂雲堂藏

麻行	見
也行	射
和行	居
居	射
居	射
居	射
居	射
居	射

中二段ノ活キ

中二段トハ何ゾヤ。五十音第二音第三音ノ二段ノミ活ケル。四段ノ活キニ比シテ之ヲ觀レバ宛其ノ中央ニアルガ如シ。是ノ故ニ中二段ノ名アルナリ。加行ニテハキククルクレ多行ニテハチツツルツレ波行ニテハヒフフルフレ麻行ニテハミムムルムレ也。行ニテハイユルユレ良行

ニテハリルル、ルレト活クナリ。此ノ詞ハ加多波麻也。良ノ六行ニアリテ阿左奈和ノ四行ニナシ。讀者中二段ノ謂ヲ了解セムト欲セバ試ニる。ルノ文字ヲ省キテ之ヲ視ヨ。則キクチツヒフミムイユリルト為リ。自其ノ中二段タルヲ知ルニ至ラム。

中二段ノ活ノ圖

加行	起キ
多行	落チ
加行	起キ
多行	落チ
加行	起ク
多行	落ソ
加行	起クル
多行	落ソル
加行	起クレ
多行	落ソレ

第一轉 第二轉 第三轉 第四轉 第五轉

日本文法卷ノ中

五

桂雲堂藏



日本書紀卷之四

本堂藏

波行	亡ビ	亡ビ	亡ブ	亡ブル	亡ブレ
麻行	恨ミ	恨ミ	恨ム	恨ムル	恨ムレ
也行	老イ	老イ	老ユ	老ユル	老ユレ
良行	懲リ	懲リ	懲ル	懲ル、	懲ルレ

中二段ノ俗言ヲ除クベキ

中二段ニ俗言アリ。雅言ニテハ右ノ圖ニ載スルガ如ク第三音ニる文字ヲ添ヘテクルツルブルムルユルル、ト云フヲ俗言ニハ第二音ニ移シテ乃起クルヲ起キル落ソルヲ落チル亡ブルヲ亡ビル恨ムルヲ恨ミル懲ル、ヲ懲リルト訛ル

下二段ノ活

下ノ類ナリ。此ラノ誤ハ慎ミテ除クベキナリ

下二段トハ何ゾヤ。五十音第三音第四音ノ二段ノミ活キテ第一音第二音ヲ遺ス。四段ノ活ヨリシテ之ヲ觀レバ宛下二段ニノミ活クガ如シ。是ノ故ニ下二段ノ名アルナリ。加行ニテハケククルクレ左行ニテハセスルスレ多行ニテハテツツルツレ奈行ニテハネヌルヌレ波行ニテハヘフフルフレ麻行ニテハメムムレ也行ニテハエユルユレ良行ニテハレルル、レ

日本書紀卷之四

六

本堂藏



和行ニテハエウウルウレト活ケルナリ讀者下  
 二段ノ謂ヲ了解セムト欲セバ試ニ有ルノ文字  
 ヲ省キテ之ヲ見ヨ自其ノ下二段ナルヲ知ル  
 ニ至ラム。

下二段ノ活キノ圖

兼	多	左	加	第一轉
奈	行	行	行	第二轉
兼	捨	合	受	第三轉
兼	捨	合	受	第四轉
兼	捨	合	受	第五轉

波	麻	也	良	和
行	行	行	行	行
辨	勉	消	枯	飢
へ	ム	エ	レ	エ
辨	勉	消	枯	飢
へ	ム	エ	レ	エ
辨	勉	消	枯	飢
フ	ム	ユ	ル	ウ
辨	勉	消	枯	飢
フル	ムル	ユル	ル	ウル
辨	勉	消	枯	飢
フル	ムル	ユル	ル	ウル

下二段ノ俗言ヲ除クベキ

下二段ニ俗言アリ。雅言ニテハ右ノ圖ニ載スル  
 ガ如ク第三音ニ有ル文字ヲ添ヘテクルスルツル  
 スルフルムルユル、ウルト云フヲ俗言ニハ  
 第四音ニ移シテ乃受クルヲ受ケル合スルヲ合



セル捨ツルヲ捨テル兼ヌルヲ兼ネル辨フルヲ  
 辨ヘル勉ムルヲ勉マル消ユルヲ消エル枯ル  
 ヲ枯レル飢ウルヲ飢エルト訛ル類ナリ。此ラハ  
 慎ミテ除クベキナリ。

變格ノ活キ

變格トハ何ゾ。正格ニ異ナレバナリ。其ノ詞ノ彙  
 類甚鮮ケレバナリ。其ノ正格ニ異ナルト何如。曰  
 ク左行ハセシスノ三段ニ活キ加行ハコキクノ  
 三段ニ活キ奈行ハ四段ノ活キ似タレ。凡第三音  
 へるをヲ添へテ四轉五轉ヲ為スナド何モ正格

ニ異ナル所以ナリ。又變格ノ詞ハ加左奈ノ三行  
 ニアルノミ他ノ行ニアルトナシ。其ノ彙類ノ鮮  
 キトハ此ノ書ノ附録ヲ觀テ悟ルベシ。正格ヲ規  
 格ヲ不規則動詞ト分テス。モノアレ今之ヲ畧ス。

變格ノ圖

第一轉 第二轉 第三轉 第四轉 第五轉

加行	來	來	來	來
左行	為	為	為	為
奈行	往	往	往	往

合成第一格ノ活キ

日本文法卷ノ中

ハ

桂雲堂藏版



合成トハ何ゾヤ。二言相ヒ合シテ一ノ動詞ヲ成セバナリ。乃チ合成第一格ノ活詞ハ四段ノ詞ト助辭ノアリト合成セシ詞ナリ。是ノ故ニ其ノ詞數四段ニ異ナラズ。

此ノ活詞。第一轉第二轉第五轉ハ古ニ用<sub>ナ</sub>テ今ニ用ル<sub>ル</sub>ヲ見ズ。是ノ故ニ第一第二第五ノ三階ハ皆本字ヲ填テズシテ以テ今文ニ用ナキ<sub>ヲ</sub>示シ唯第三轉第四轉ヲ本字ヲ填テ、以テ今文ニ有用ナル<sub>ヲ</sub>示ス。其ノ圖左ノ如シ。

合成第一格ノ圖

加行	第一轉	ユケラム	ユケリ	行ケリ	行ケル	ユケレ
左行	第二轉	ウツセラム	ウツセリ	寫セリ	寫セル	ウツセレ
多行	第三轉	ウテラム	ウテリ	打テリ	打テル	ウテレ
波行	第四轉	イヘラム	イヘリ	言ヘリ	言ヘル	イヘレ
麻行	第五轉	スメラム	スメリ	住メリ	住メル	スメレ
良行	第六轉	サレラム	サレリ	去レリ	去レル	サレレ
側注	四段ノ詞トアリト合セシトハ	ユケリウ	ウツセリ	打テリ	言ヘル	イヘレ
ツセリ	ウテリ	イヘリ	スメリ	サレリ	ハ	ナ <sub>キ</sub> ユキ
アリ	ウツシ	アリ	ウチ	アリ	イヒ	アリスミアリ

日本文法卷ノ中  
桂雲堂藏版



サリアリノ約リタルナリ。其ノ所以ハキシチ  
 ヒミリノ音ケセテヘメレノ音ニ轉ジ。アハ母  
 音ナルユエ隠レテ響カザレバキアリ約リテ  
 ケリト成リ。シアリ約リテセリト成リ。チアリ  
 約リテテリト成リ。ヒアリ約リテヘリト成リ。  
 ミアリ約リテメリト成リ。リアリ約リテレリ  
 ト成リタルナリ。○一説ニ云ク。ユキテアリウ  
 ツシテアリウチテアリイヒテアリスミテア  
 リサリテアリノキテシテチテヒテミテリテ  
 ノニ音約リテケセテヘメレノ音ヲ生ジ而シ

テアハ母音ナルユエ隠レテ響カズ直ニ下ノ  
 リニ接シテケリセリテリヘリメリレリト成  
 リタルナリトゾ。此ラザノ個条普通學ノ徒ハ  
 知ラザルモ可ナラムカ。

合成第二格ノ活キ

合成第二格ノ活キ詞ハ体言ト左行變格ノセシス  
 ト合シテ成リタル詞ナリ。左行變格ノ詞ハ本トを  
 ぶトおはをるトノ二詞ノミナリ。然レモ今許多  
 ノ体言ニ合シテ動詞ト成レルモノハ其ノ詞數  
 尤廣大ナリ。今時ノ文章ニ就キテ動詞ノ割合レヲ  
 計較スルニ此ノ格ノ詞率其ノ一半ヲ領ズルニ

十  
 桂雲堂藏



似タリ。セシハスルヲ一詞トシオハセトス  
故フニ詞ト

合成第二格ノ詞ハ無形ナル訓讀ノ体言ニ合セ  
ルモノト無形ナル音讀ノ体言ニ合セルモノト  
ノ二様アリ。其ノ例ヲ舉グルニ左ノ如シ。

合成第二格ノ圖

夫体言ハ音訓ニ拘ハラズルテ死物ニシテ活動	訓讀	第一轉	第二轉	第三轉	第四轉	第五轉
	音讀	論ゼム	論ジ	論ズ	論ズル	論ズレ
	欲セム	欲シ	欲ス	欲スル	欲スレ	
	欲ガリ	欲シ	欲ス	欲スル	欲スレ	
	論ゼム	論ジ	論ズ	論ズル	論ズレ	

セ又モノナリ。然レ此ノ在ルテフ詞ト接合ス  
ル片ハ始テ動詞ノ活キヲ為スモノナリ。是ノ故ニ  
無數ノ体言ヲ驅リ動詞ノ範圍中ニ入レテ活動  
セシムルモノハ此ノ格ノ功ト謂ハムカ。唯前件  
舉タル所ノ欲スル論ズルナドノ簡單ナル語ノ  
ミナラズ。二字連續セル關係スル憤發スル發明  
スル依頼スル獨立スルナドノ詞モ皆悉此ノ格  
ノ詞ト看做シテ可ナリ。

合成第三格ノ活キ

合成第三格ノ活キ詞ハ音讀ノ体言トセリセルテ



フ助辭ト合シタル所ノ詞ニシテ其ノ詞數頗多シ。其ノ一例ヲ舉グル片ハ左ノ圖ノ如シ。

合成第三格ノ圖

第三轉
第四轉
存セリ
存セル

セリハシテアリノ約セルハシテアルノ約トス  
 蓋シテノ意ハ為テナリ是ノ故ニ存セリハ存シ  
 テアリノ意存セルハ存シテアルノ意ナリ。此ノ  
 格ノ詞モ存セリ命ゼリナドノ如ク單簡ナル語  
 ノミナラズ。彼ノ二字連續セル關係セリ關係セ

ル獨立セリ獨立セルナドノ詞ヲモ皆此ノ格ノ詞ト看做スベキナリ。

動詞ノ法

連用
截斷
連体
命令

八種ノ動詞。已其ノ活動ノ大略ヲ了解スレバ之  
 ニ繼ギテ連續截斷ノ大要ヲ學ブベシ。連續截斷  
 ノ大要トハ何ゾ。連用截斷連体ノ三項ナリ。今之  
 ニ命令ノ一項ヲ加ヘテ四項ト為ス。

連用言 言ト云フ



連用トハ何ゾヤ。用言ニ連ヌルニ用言ヲ以テス  
 レバナリ。乃チ動詞ニシテ連用ト稱フルハ動詞ニ  
 續グニ動詞ヲ以テスルユエナリ。  
 法則ノ一。連用言ハ(活用圖ノ)第二轉ノ詞ヨリ  
 直ニ動詞ニ連ル。  
 法則ノ二。連用言ハ第二轉ヨリテノ接續辭ヲ  
 隔テ、動詞ニ連ル。  
 法則ノ三。連用言ハ第二轉ヨリ句讀ヲ隔テ、  
 連ル。  
 試ニ第一ノ法則ニ就キテ其ノ例ヲ舉グレバ四

段ニテハ行キ過グ。馬シ取ル。打チ殺ス。言ヒ語ル。  
 住ニ駟ル。去リ来ル。一段ニテハ着破ル。似寄ル。干  
 盡ス。見送ル。射通ス。居坐ル。中二段ニテハ起キ上  
 ル。落チ下ル。亡ビ滅ブ。恨ミ哀ム。老イ疲ル。懲リ  
 ヲ下ニ段ニテハ受ケ取ル。合セ見ル。捨テ流ス。兼  
 ネ用ル。辨ヘ解ク。勉メ強フ。消エ失ス。枯レ朽ツ。飢  
 エ死ヌ。變格ニテハ来鳴ク。往ニ歸ル。為果ス。合成  
 第二格ニテハ論ジ辨ズナドノ如シ。  
 第二ノ法則ニ就キテ其ノ例ヲ舉グレバ四段ニ  
 テハ行キテ訪フ。撃チテ倒ス。去リテ歸ラズ。一段



ニテハ着テ破ル。見テ甚喜ブ。射テ貫ク。中二段ニ  
テハ落チテ流ル。亡ビテ已ム。老イテ後悔ユ。下二  
段ニテハ受ケテ拜ス。合セテ有ツ。棄テ、顧ズ。勉  
メテ行フ。飢エテ死ナムトス。合成第二段ニテハ  
論ジテ詳ナラズナドノ如シ。

第三ノ法則ニ就キテ其ノ例ヲ舉グレバ四段ニ  
テハ孟子范ヨリ齊ニ之<sup>レ</sup>キテ齊王ノ子ヲ望ミ見  
ル。郷國ヲ去リテ四方ニ周游ス。一段ニテハ錦ヲ  
衣テ故郷ニ歸ル。君子ヲ見テ厭<sup>ア</sup>然トシテ其ノ不  
善ヲ掩フ。一矢ヲ射テ堅城ヲ降ス。中二段ニテハ

一葉落チテ天下已ニ秋ナルヲ知ル。吾懋<sup>リ</sup>リテ  
後ノ憂ヲ忘ム。下二段ニテハ王命ヲ受ケテ不  
庭ヲ征ス。桓公九タビ諸侯ヲ合セテ一タビ天下  
ヲ匡ス。變格ニテハ生ケル片ハ之ニ事ルニ礼ヲ  
以テシ<sup>レ</sup>死スル片ハ之ヲ葬ルニ礼ヲ以テス。合成  
第二段ニテハ既ニ其ノ生キムヲ欲シ又其ノ  
死ナムヲ欲ス。ナドノ如シ。此ラノ連用言ハ次  
ノ句ノ動詞マデ氣脈ヲ通ジテ遙ニ相ヒ連絡ス  
ルモノナリ。

連用言ノ誤謬



動詞ニシテ連用言ヲ誤ルモノハ四段ノ詞ノ加  
多波麻良ノ五行ニアリナシ行ニ試ニ其ノ一二ノ  
例ヲ舉グルルハ加行ニテハ行イテ訪フ。急イテ  
行ク。書イテ與フ。多行ニテハ打ツテ倒ス。過ツテ  
改ム。勝ツテ誇ル。波行ニテハ謂ウテ曰ク。謂フテ  
曰ク。謂ツテ曰ク。學ンテ時ニ習フ。學ムテ時ニ習  
フ。笑ウテ答ヘズ。笑フテ答ヘズ。笑ツテ答ヘズ。麻  
行ニテハ住ムテ居ル。樂ムテ遊ブ。憐ンテ救フ。良  
行ニテハ去ツテ歸ラズ。假ツテ及サズ。代ツテ勤  
ム。知ツテ言ハズ。ナドノ如シ。此宜シク法則ニ照

準シテ行キテ急ギテ書キテ加打チテ過チテ勝  
チテ多謂ヒテ學ビテ笑ヒテ波行住ニテ樂ミテ憐  
ミテ麻行去リテ假リテ代リテ知リテ良行ナド、改  
ムベシ。此ノ外四段ノ詞載セテ附録ニアリ。時々  
之ヲ練習スベシ  
(側注)行イテ謂ウテ笑ウテ學ンテナドノ詞中  
古以來音便ト稱ヘテ諸書ニ散見スルナレ  
バ初學ノ徒唯能ク一個ノ定則ヲ遵守シテ他  
ヲ顧ルナキヲ可トス。

截斷言



截斷トハ何ゾヤ詞ノ終句ノ止ナリ是ノ故ニ終  
 止言絶止言切止言斷止言ナドノ稱呼アリ  
 法則ノ一 截斷言ハ(活用圖)第三轉ノ詞其ノマ  
 マ切ル、ナリ  
 法則ノ二 動詞ノ上ニゾヤカノ後置辭ヲ係辭  
 ト為ス片ハ其ノ截斷スル動詞ハ必(活用圖)第四  
 轉ノ詞タルベシ。  
 法則ノ三 動詞ノ上ニコソノ後置辭ヲ係辭ト  
 為ス片ハ其ノ截斷スル動詞ハ必(活用圖)第五轉  
 ノ詞タルベシ。

試ニ第一ノ法則ニ就キテ其ノ例ヲ擧グレバ四  
 段ニテハ遠方ヘ行ク。廻状ヲ寫ス。網ヲ打ツ。用事  
 ヲ言フ。近所ニ住ム。此處ヲ去ル。一段ニテハ袴ヲ  
 着ル。容貌ガ似ル。汐ガ干ル。大人ヲ見ル。狡兔ヲ射  
 ル。穴ニ居ル。中ニ段ニテハ朝早く起ク。車ヨリ落  
 ツ。敵國亡ブ。互ニ恨ム。吾今老ユ。過失ヲ懲ル。下ニ  
 段ニテハ其ノ賜ヲ受ク。六國ヲ合ス。其ノ惡ヲ捨  
 ツ。三科ヲ兼ヌ。大事ヲ辨フ。學問ヲ勉ム。春雪消ユ。  
 古木枯ル。凶年ニハ人飢ウ。變格ニテハ君ニ事ス  
 礼ヲ以テス。合成第一格ニテハ他國ニ行ケリ。書



ヲ寫セリ。網ヲ打テリ。用事ヲ言ヘリ。近所ニ住メ  
リ。此處ヲ去レリ。合成第二格ニテハ人皆之ヲ欲  
ス。古ノ人ヲ論ズ。合成第三格ニテハ有司存セリ  
ナドノ如シ。

第二ノ法則ニ就キテ其ノ例ヲ擧グレバ四段ニ  
テハ流レテゾ行ク誰カ言フ。人ヤ住ム。一段ニテ  
ハ面ゾ似ル。誰カ見ル。人ヤ居ル。中二段ニテハ花  
ゾ落ツル。孰カ亡ブル。人ヤ老ユル。下二段ニテハ  
何ヲカ捨ツル。植木ヤ枯ル。人ゾ飢ウル。變格ニ  
テハ春ヤ来ル。花ノ香ゾスル。合成第一格ニテハ

人ヤ住メル。何日カ去レル。合成第二格ニテハ誰  
カ之ヲ論ズル。ナドノ如シ。凡テ此ラノ截斷法ハ  
今文ニ用ザルヲ多シ。此ノ條及ヒ次ノ條ハ近侍文  
解スル為ニ  
第三ノ法則ニ就キテ其ノ例ヲ擧グレバ四段ニ  
テハ我コソ行ケ。一段ニテハ人コソ見レ。中二段  
ニテハ今朝コソ起クレ。下二段ニテハ免状コソ  
受クレ。變格ニテハ思ヒコソスレ。合成第二格ニ  
テハ斯コソ論ズレナドノ如シ。此ラノ截斷法モ  
今文ニ用ルヲ稀ナリ。



截断言ノ誤認

動詞ニシテ截断言ヲ誤ルモノハ多ク中二段下  
二段ノ第四轉ノ詞ヲ用テ截断ヲ為スニアリ。例  
ヘバ花ガ落ツル。今度ハ懲ル。以上中  
金ヲ受ク  
ル。芥ヲ捨ツル。學問ヲ勉ムル。以上下  
テドノ如シ  
又中二段下二段ノ第四轉ノ俗言ヲ用テ截断ヲ  
為スニアリ。例ヘバ朝早ク起キル。車カラ落テ  
ル。敵ガ亡ビル。人ガ懲リル。以上中  
褒賞ヲ受ケル。身  
ヲ棄テル。兩方ヲ兼ネル。用事ヲ辨ヘル。役ヲ勉メ  
ル。雪ガ消エル。木ガ枯レル。人ハ飢エル。以上下  
ナ

トノ如シ。截断言法則ノ一ニ云ク截断言ハ第三  
轉ヨリ切ルト。其ノ二ニ云クダヤカノ後置辭係  
辭トナル片ハ第四轉ヨリ切ルト。今ヤ然ラス。ゾ  
ヤカノ係辭ナキニ第四轉ノ詞ヲ以テ截断トシ  
或ハ第四轉ノ俗言ヲ以テ截断トス。是誤ノ甚シ  
キモノナリ。宜シク戒メテ除キ去ルベシ。  
又動詞ニシテ截断言ヲ誤ルモノハコソノ係辭  
ニ第四轉ノ詞ヲ以テ截断スルモノ是ナリ。例ヘ  
バ四段ニテハ我コソ行ク。一段ニテハ人コソ見  
ル。中二段ニテハ今朝コソ起クル。下二段ニテハ



免状コソ受クル。變格ニテハ思ヒコソスル。今成  
 第二格ニテ、斯コソ論ズル。ナドノ如シ。截断言  
 法則ノ三ニ云クコソノ後置辭ヲ係辭ト為スル  
 ハ其ノ截断スル所ノ動詞ハ必第五轉ノ詞タル  
 ベシト。今ヤ然ラズコソノ係辭ニ應ズルニ第四  
 轉ノ詞ヲ以テ之ヲ截断セムトス。是誤ナリ。

連体言言ト云フ

連体トハ何ゾヤ。用言ヲ以テ体言ニ連スルナリ。  
 動詞ニシテ連体ト云ヘルハ動詞ヨリ名詞及ビ  
 他ノ一ニノ体言ニ連接スルユエナリ。他ノ体言トニ

ハル法則ノ者ナリ者ナリ。舉

法則ノ一。連体言ハ活用圖第四轉ノ詞ヨリ名  
 詞ニ連ル。  
 法則ノ二。連体言ハ第四轉ノ詞ヨリ關係代名  
 詞ニ連ル。  
 法則ノ三。連体言ハ第四轉ノ詞ヨリトモノテ  
 フ(体言ノ性質アル)助辭ニ連ル。  
 試ニ第一ノ法則ニ就キテ其ノ例ヲ舉グレバ四  
 段ニテハ行ク道。馬ス紙。打ツ太刀。言フ詞。住ム家。  
 去ル日。一段ニテハ着ル衣。似ル貌。干ル汐。見ル人。



射ル矢居ル宅。中二段ニテハ起クル朝。落ッル花。  
 亡ブル國。恨ムル意。老ユル犬。懲ル、仕方。下二段  
 ニテハ受クル財寶。合スル蓋。捨ッル芥。兼ヌル用  
 事。辨フル箇條。勉ムル家業。消ユル火。枯ル、庭樹。  
 飢ウル凶客。變格ニテハ来ル書狀。往ヌル客。為ル  
 仕事。合成第一格ニテハ行ケル人。寫セル本。打テ  
 ル音。言ヘル詞。住メル家。去レル客。合成第二格ニ  
 テハ論ズル說。ナドノ如シ。  
 第二ノ法則ニ就キテ其ノ例ヲ舉グレバ四段ニ  
 テハ遠方へ行ク所ノ徒。所ノ既ニ關係代名詞出セル一

段ニテハ見ル所ノ人。中二段ニテハ亡ブル所ノ  
 國。受クル所ノ賜。變格ニテハ其ノ之ヲ為ル所ノ  
 者。合成第一格ニテハ其ノ言ヘル所ノ言。合成第  
 二格ニテハ其ノ論ズル所ノ說。合成第三格ニテ  
 ハ秘セル所ノ密事。ナドノ如シ。  
 第三ノ法則ニ就キテ其ノ例ヲ舉グレバ四段ニ  
 テハ行クモノ。言フ。一段ニテハ似ルモノ。見ル  
 一。中二段ニテハ亡ブル一。恨ムルモノ。下二段ニ  
 テハ大事ヲ辨フルモノ。消ユル一。變格ニテハ来  
 ルモノ。為ル一。合成第一格ニテハ行ケルモノ。言



ヘル。合成第二格ニテハ欲スルモノ。論ズル。ナドノ如シ。凡、斯ノ如ク動詞ニ「モ」ノ助辭連續スルキハ假ニ名詞ノ状ヲ装フニ至ルモノナリ。

(側注)「モ」ノハ之ヲ助辭中ニ入ル、モ其ノ本ハ体言ナリ。故ニ動詞「モ」ヲ得ルキハ其ノ能力幾、名詞ノ如ク能ク形容詞後置辭或ハ形狀辭ヲ從フルニ至ル。故ニ又之ヲ動詞狀ノ名詞トモ云フ。

連体言ノ誤謬

動詞ニシテ連体言ノ定則ヲ誤ルモノ。多ク中ニ段下二段ノ第三轉ノ詞ヲ以テ体言ニ連ホムトスルニアリ。乃中二段ノ誤ニテハ落ツ花。亡ブ國。恨ム意。老ユ犬。懲ル仕方。下二段ノ誤ニテハ合ス蓋。捨ツ芥。兼ヌ用事。辨フ箇條。勉ム家業。枯ル木ナ。是ナリ。連体言法則ノ一ニ云ク連体言ハ第四轉ヨリ名詞ニ連ルト。然ルニ今此ノ法則ニ違ヒテ第三轉ノ詞ヲ以テ名詞ニ連ホムトス。是誤謬タル所以ナリ。又動詞ノ第四轉ヨリ所「モ」ヲ加ヘズシテ直



ニノノ後置辞アリノ形状辞或ハ形容詞ナドニ  
 連ネムトスルニアリ。乃遠方ヘ行クノ徒。亡ブル  
 ノ國。行クアリ。言フ勿レ。見ル勿レ。ナド是ナリ。是  
 宜シク連体言第二第三ノ法則ニ從ヒ。行ク亡ブ  
 ルノ下ニ所ノ代名詞ヲ補ヒ言フ見ルノ下ニ  
 ノ助辭ヲ足シ行クノ下ニモノノ助辭ヲ加フベ  
 シ。左ニ聊成句中ノ誤ヲ引キ更ニ讀者ノ注意ヲ  
 要スルヲアラムトス。

礼ニ非レバ視ル勿レ。礼ニ非レバ聽ク勿レ。礼  
 ニ非レバ言フ勿レ。礼ニ非レバ動ク勿レ。

之ヲ行フ專ナラズ。世界ノ變革ニ關涉ス  
 ル甚大ナリ。

(側注) 視ル。聽ク。言フ。動ク。行フ。關涉  
 スル。ト正スベシ。

以上ノ三法ヲ合セ論ズ

前條ノ連用連体ノ法則ニテ動詞ノ連續スルモ  
 ノヲバ盡網羅セリトスルニアラズ。動詞ヨリ助  
 辭ニ連續スルモノアリテ其ノ用方甚博シ。豈徒  
 ニ二轉四轉ノミナラム一轉五轉サヘ多少助辭  
 ノ連續スベキモノ存在セリ。然レモ此ラハ後段



ニ於テ詳論スル所アレバ今此ニ畧ス。  
 連用截斷連体ノ名目。假ニ之ヲ對比スレバ連用  
 ハ截斷ト相ヒ對シ又連体ト相ヒ對ス。蓋用言ノ  
 体言ニ連ルモノヲ連体ト稱セシヨリ又之ニ對  
 シテ用言ノ用言ニ連ルモノヲ連用ト稱ス。用言  
 ノ句ヲ隔テ、用言ヘ連ルモノヲ連用ト稱セシ  
 ヨリ又之ニ對シテ用言ニシテ句ヲ斷ルモノヲ  
 バ截斷ト稱スルナリ。今一二ノ作例ヲ假リテ語  
 句ノ連截ヲ示ス。左ノ如シ。  
 予之ヲ<sup>連用</sup>付リ<sup>截斷</sup>度ル。 己ニ<sup>連用</sup>克チテ礼ニ<sup>截斷</sup>復ル。

泰山ヲ<sup>連用</sup>拔ミテ北海ヲ<sup>截斷</sup>超ユ。 仕<sup>連体</sup>フルモノハ皆  
 王ノ朝ニ立タム<sup>連用</sup>ヲ<sup>連用</sup>欲シ。 耕<sup>連体</sup>スモノハ皆王ノ  
 野ニ耕サム<sup>截斷</sup>ヲ<sup>截斷</sup>欲ス。  
 命令言  
 命令言トハ何ゾヤ。人ニ言ヒ附ク又ハ希ヒ望ム  
 詞ナリ。是ノ故ニ使令言希求言<sup>下知</sup>ノ詞ナド、  
 七稱スル<sup>トアリ</sup>。  
 法則 四段ノ詞ハ第五轉ヲ直ニ命令言トシ一  
 段中二段下二段及ビ左行變格合成第二格ハ第  
 一轉ニヨ文字ヲ添ヘテ命令言トス。



今一度右ノ法則ニ據リテ之ヲ詳解スルハ四  
段ト奈行變格トハ五十音ノ第四音ヲ直ニ命令  
言トシ下二段ト左行變格ト合成第二格トハ第  
四音ニよ文字ヲ添ヘテ命令言トシ一段ト中二  
段トハ第二音ニよ文字ヲ添ヘ加行變格ハ第五  
音ヲ直ニ命令言トス。

試ニ其ノ例ヲ擧グルハ四段ニテハ行ケ寫セ  
打テ言ヘ住メ去レ奈行變格ニテハ往ネ(死)下  
二段ニテハ受ケヨ合セヨ捨テヨ兼ネヨ辨ヘヨ  
勉メヨ消エヨ枯レヨ飢エヨ左行變格及ビ合成

第二格ニテハ為ヨ欲セヨ論ゼヨ一段ニテハ着  
ヨ似ヨ干ヨ見ヨ射ヨ居ヨ中二段ニテハ起キヨ  
落チヨ亡ビヨ恨三ヨ老イヨ懲リヨナドノ如シ。  
加行變格ニテハ来ト呼ブ。

命令言ノ誤課

命令言ノ誤ハ四段ノ詞ニよ文字ヲ附クルニア  
リ。乃行ケヨ寫セヨ打テヨ言ヘヨ住メヨ去レヨ  
ナド是ナリ。是信ニ蛇ヲ画キテ足ヲ附クルモノ  
ト謂フベシ。法則ニ云ク四段ノ詞ハ第五轉ヲ直  
ニ命令言トスト此思ハザルベケムヤ。



(側注) 行ケヨ言ヘヨナドノ詞遣<sub>ヒ</sub>ラバ中古以後ノ音便ト稱ヘテ用ル人アレ<sub>レ</sub>凡予ハ初學ノ徒ニ之ヲ語ル<sub>レ</sub>ヲ好マズ。

動詞ノ時

現在 過去 未来

動詞活用圖ニ因リテ時限ヲ指シ示ス片ハ第一轉ハ未來。第二轉第五轉ハ過去。第三轉第四轉ハ現在ナリ。合此第一格ハ然レ<sub>レ</sub>今時限ノ順序ニ據リ先後シテ現在過去未來トシ又之ヲ別チテ

現在。第一過去。第二過去。第三過去。第一未來。第二未來トス。然リ而<sub>レ</sub>其ノ第一第二ノ稱呼ハ時限ノ遠近ニ拘リテ之ヲ分ツニアラズ。唯作動情義ノ趣<sub>キ</sub>ニ差別アルヨリ分ツナリ。猶<sub>ホ</sub>甲乙丙ト呼バムガ如シ。讀者恠ム<sub>レ</sub>勿<sub>レ</sub>。蓋<sub>シ</sub>現在トハ現ニ動作スル所。過去トハ其ノ動作ノ既ニ極<sub>レ</sub>ル所或ハ過ギ去リシ所。未來トハ未<sub>タ</sub>然ラザル所或ハ將ニ然ラムトスル所ナドヲ謂フ。

現在

現在トハ文章ニ就キテ其ノ詞ノ現ニ動作スル



部分ヲ謂フナリ。

法則 動詞ハ合成第一格ヲ除ク外凡テ第三轉  
第四轉ノ詞ヲ以テ現在ノ活ヲ顯ス。

試ニ右ノ法則ニ本キテ現在動詞ノ例ヲ舉グレ

バ四段ニテハ人路ヲ行ク。路ヲ行ク人。一段ニテ

ハ衣服ヲ着ル。衣ヲ着ル時。中二段ニテハ梅花落

ツ。落ツル梅。下二段ニテハ山雪消ユ。消ユル雪。變

格ニテハ今日來。來ル客。合成第二格ニテハ古人

ヲ論ス。論ズル趣意ナドノ如シ。

第一過去

第一過去ハ前ノ作動已ニ滿ナテ次ノ作動ヲ生

ズル時ヲ謂フナリ。又一ノ充分シタル作動ト之

ニ應ズル他ノ作動ト連續スル所ノモノヲ謂フ

ナリ。乃チ風止ニテ日暮ル。容貌ヲ動シテ斯ニ

暴慢ヲ速ク。顔色ヲ正シクシテ斯ニ信ニ近ク。

實ツレトモ虚キガ若ク犯セトモ校ラズ。ナドノ如

シ。此止ニ動シ實ツレ犯セナドノ動詞テトモノ

接續辭ヲ得テ第一過去ノ活ヲ顯スナリ。

法則ノ一。合成第一格ヲ除ク外動詞ハ凡テ第

二轉ノ詞ニテノ接續辭ヲ添ヘテ第一過去ノ活



ヲ顯ス。

法則ノ二。動詞ハ凡ベテ第五轉ノ詞ニバドレ

ノ接續辞ヲ添ヘテ第一過去ノ活ヲ顯ス。

試ニ第一ノ法則ニ就キテ其ノ例ヲ舉グレバ四

段ニテハ行キテ訪フ。伐チテ之ヲ破ル。言ヒテ必

行フ。一段ニテハ似テ非ナリ。見テ知ル。射テ貫ク。

中二段ニテハ落チテ流ル。老イテ樂ム。懲リテ忘

ム。下二段ニテハ受ケテ之ヲ拜ス。棄テ、顧ズ。兼

ネテ之ヲ施ス。變格ニテハ來テ尋ヌ。合成第二格

如シ。

第二ノ法則ニ就キテ其ノ例ヲ舉グレバ四段ニ

テハ行ケバ留主ナリ。行ケド來ラズ行ケレ居ラ

ズ。言ヘバ行フ。言ヘド答ヘズ。言ヘレ行ハズ。一段

ニテハ視レバ見ユ。視レド見エズ。視レレ見エズ。

射レバ貫ク射レド通ラズ。射レレ破レズ。中二段

ニテハ落ツレバ拾フ。落ツレド知ラズ。落ツレレ

推ケズ。老ユレバ衰フ。老ユレド壯ナリ。老ユレレ

壯ナリ。下二段ニテハ合スレバ合ヘリ。合スレド

離ル。合スレレ合ハズ。勉ムレバ成ル。勉ムレド成



ラズ。勉ムレ成リ難シ。變格ニテハ涅ニスレ成  
黒マズ。合生第二格ニテハ欲スレバ得。欲スレド  
得ズ。欲スレレ得ズ。論ズレバ服ス。論ズレド容レ  
ズ。論ズレレ服セズナドノ如シ。

第二過去

第二過去ハ作動既ニ抵リ極リテ仍存留スルガ  
如キモノヲ謂フナリ。第二過去ハ第一過去ノ如  
ク繼續ノ句法ニ非ズ。故ニ今別ニ一項ヲ設ケタ  
ルナリ。其ノ例 秋ノ風止ニテ又春ノ草ニモ成  
レリ。平家物語 大政大臣ノ官ニ昇レル人。盛衰

為朝一陣ヲ承リテ固メタリトゾ答ヘケル。元保

物語 承久ヨリ此方領メタル所ニ御幸ナル。神皇

正統 俗塵ヲ厭ヒ官ヲ抛テテ入道セリ。管原点ナドノ如シ。

遵豆ノ事ハ有司存セリ。論語

法則ノ一。動詞ハ合成第一格ノ第三轉第四轉

ヲ以テ第二過去ノ活ヲ顯ス。

法則ノ二。動詞ハ合成第一格及ビ第三格ヲ除

ク外凡ベテ第二轉ノ詞ニタリタルノ形状辞ヲ

添ヘテ第二過去ノ活ヲ顯ス。

法則ノ三。動詞ハ合成第三格ノ第三轉第四轉



ヲ以テ第二過去ノ活ヲ顯ス。

試ニ第一ノ法則ニ就キテ其ノ例ヲ擧グレバ今  
朝往ケリ。今朝往ケル人。書ヲ寫セリ。寫セル書物。  
網ヲ打テリ。打テル音。用事ヲ言ヘリ。古人言ヘル  
説アリ。近所ニ住メリ。山ニ住メル人。此處ヲ去レ  
リ。此處ヲ去レル時ナドノ如シ。

第二ノ法則ニ就キテ其ノ例ヲ擧グレバ四段ニ  
テハ行キタリ。行キタル人。寫シタリ。寫シタル書  
物。一段ニテハ衣ヲ着タリ。着タル衣。猿ニ似タリ。  
似タル顔。中二段ニテハ今ハ亡ビタリ。亡ビタル

國。年老イタリ。老イタル後。下二段ニテハ用ヲ兼  
ネタリ。兼ネタル用事。學業ヲ勉メタリ。勉メタル  
生徒。變格ニテハ人来タリ。遠方ヨリ来タルモノ。  
合成第二格ニテハ欲シタリ。欲シタル。論シタ  
リ。論シタル説ナドノ如シ。

第三ノ法則ニ就キテ其ノ例ヲ擧グレバ有司存  
セリ。存セルモノ。堅ク之ヲ秘セリ。秘セル術ナド  
ノ如シ。

(側注) 行ケリ打テリト行キタリ打チタリトハ  
語勢ニ於テ緩急長短ノ差違アルモ其ノ趣旨



ニ至リテハ階級ヲ分ツベキホドノ差等ナシ。  
是ノ故ニ今新ニ行キタリ打チタリナドヲ第  
ニ過去ノ部ニ編入ス。

第二過去ノ誤謬

第二過去ノ誤ハ下二段ノ第二轉ノ詞ニリ文字  
ヲ添ヘテ過去ノ活ヲ為サハトスルモノ是ナリ。  
蓋其ノ誤ヲ生ズル所以ハ動詞ノ第四音ケセテ  
ヘメレニリ文字添ヒタルハ合成第一格ノミニ  
限ルト云フヲ知ラザルユエナリ。其ノ誤ノ例  
下二段加行ノ詞ニテハ金ヲ受ケリ。書ヲ捧ゲリ。

業ヲ授ケリ。事ヲ妨ゲリ。左行ニテハ事ヲ任セリ。  
多行ニテハ物ヲ捨テリ。奈行ニテハ事ヲ兼ネリ。  
波行ニテハ金ヲ與ヘリ。勢衰ヘリ。問ヲ答ヘリ。杖  
ヲ携ヘリ。事ヲ辨ヘリ。書ヲ教ヘリ。業ヲ卒ヘリ。麻  
行ニテハ書籍ヲ集メリ。過ヲ改メリ。君ヲ諫メリ。  
物ヲ掠メリ。蘊奧ヲ究メリ。志ヲ定メリ。書状ヲ認  
メリ。木ヲ揉メリ。役ヲ勉メリ。業ヲ始メリ。足ヲ疾  
メリ。身ヲ潛メリ。名ヲ弘メリ。也行ニテハ病愈エ  
リ。音ニ懽エリ。聲ガ聞エリ。家白ニ榮エリ。行路絶  
エリ。火見エリ。良行ニテハ水溢レリ。功顯レリ。他



ニ打タレリ。水ニ溺レリ。山崩レリ。水流レリ。難ヲ  
遁レリ。和行ニテハ樹木ヲ植エリ。人飢エリナド  
ノ如シ。

右ノ誤ヲ正スニハ宜シク其ノリ文字ヲ除キテ  
タリノ形状辞ヲ添フベキナリ。乃業ヲ授ケタリ。  
事ヲ兼ネタリ。業ヲ卒ヘタリ。蘊奥ヲ究メタリ。病  
愈エタリ。水溢レタリ。ナド、正スガ如シ。

第三過去

第三過去ハ事物ノ往キ去リシト或ハ作動ノ既  
ニ畢リタルトシテ記スルニ用ル詞ナリ。其ノ例ヲ

擧グルニ

左衛門ノ大夫家廣承リテ子供與シテ固メタ  
リ其ノ勢百五十騎トゾ聞エシ。二千餘騎ト  
ゾ記シケル。栗、ギテゾ居タリケル。我が身  
ハ薄鉄ヲゾ着タリケル。七月二日遂ニ隱レ  
サセタマヒヌ。以上保元物 忽思ヲ忘レ契ヲ  
變ジテ頼朝義仲ヲニ從ヒキ。白杵戸槻松浦  
黨同心シテ推シ渡ル氏聞エケリ。舟ドモ皆  
打チ損セラレテ出スニ及ハズ脩理ノ為ニ其  
ノ日ハ止リヌ。以上平家 諸國ノ軍ヲ集メテ



攻メシカ<sup>レ</sup>臣固ク守リケレバ<sup>タ</sup>容ヤスク落スニ

能ハズ。河内ノ國ニ楠ノ正成ト云フモノ有

リ<sup>キ</sup>正統<sup>記</sup>ニ神皇父ガ首生キタリシ時ニモ似

ズ。首ヲ懸ケタリシカバ。廿六日ト申スニ

御船隱岐ノ國ニ著キニケリ。ナドノ如シ。

法則 動詞ハ第二轉ノ詞ニキシシカケリケル

ケレタリシタリケリタリケル又ナドノ形状辞

或ハ助動辞ヲ添ヘテ第三過去ノ活ヲ顯ス。

試ニ右ノ法則ニ就キテ其ノ例ヲ擧グレバ四段

ニテハ行キシ行キシカ行キケリ行キケル行キ

ケレバ。行キタリシ。行キタリケル。行キ又。一段ニ

テハ見キ見シ見シカ見ケリ見ケル見ケレバ見

タリキ見タリシ見タリケリ見タリケル。中二段

ニテハ亡ビシ亡ビシカ亡ビケリ亡ビケル亡ビ

ケレバ亡ビタリシ亡ビタリケル亡ビ又。下二段

ニテハ捨テシ捨テシカ捨テケリ捨テケル捨テ

ケレバ捨テタリシ捨テタリケル。變格ニテハ來

シ來シカ來タリシ來タリケル。合成第二格ニテ

ハ論ゼシ論ジケリ論ジケル論ジケレバ論ジ又

論ジタリシ論ジタリケリ論ジタリケルナドノ



如シ。

(側注) 本文ニ舉グル所ハ大略ノ三。若詳ニ其ノ  
辞ヲ載スレバキシシカケリケルケレ又又ル  
又レタリケリタリケルタリケレタリキタリ  
シタリシカナド十數言アリテ其ノ意旨ニモ  
多少ノ差違アリ。讀者能ク形状辞及ビ助動辞  
ノ條ニ於テ意義ヲ明ムル後再<sup>ビ</sup>其之ヲ味フベ  
シ。

第一未來

第一未來ハ其ノ後來為サムトスル作動ヲ預言

シ或ハ今將ニ然ラムトスル作動ヲ記載スルモ  
ノナリ。故ニ又之ヲ將然言トモ云フ。乃チ

來月ハ東京ニ趣カム。暇アラバ書ヲ讀マム。

百餘騎ノ中ニ取り込メテ打タムトシケル。

治ラムトシテ愈乱ルナドノ如シ。

法則 動詞ハ第一轉ノ詞ニムノ助動辞バノ接  
續辞ヲ添ヘテ第一未來ノ活ヲ顯ス。

試ニ右ノ法則ニ就キテ其ノ例ヲ舉グレバ四段

ニテハ遠方ニ行カム。我行カバ彼喜バム。君子住

マバ陋習去ラム。一段ニテハ衣服ヲ着ム。家ニ居



花ヲ見ム。中二段ニテハ朝蚤ク起キム。民恨ミ  
バ國遂ニ亡ビム。下二段ニテハ名利ヲ棄テバ安  
樂ヲ得ム。役ヲ勉メバ禄ヲ受ケム。雪消エム。變格  
ニテハ今来ム。合成第二格ニテハ欲セバ自得ム。  
請フ之ヲ論ゼムナドノ如シ。

側注 第一未来ノ活ニ於テ上ニコソノ後置辞  
係ルキニハムノ助動辞ヲメニ變スベキ規則  
アリ。然レモ今体文ニ用ル<sub>レ</sub>甚稀ナルユエ法  
則中ニ省キタルナリ。蓋<sub>シ</sub>メニ變ズトハ例ヘバ  
左コソアラメ。人コソ来タラメ。ナドノ

第二未来

第二未来ハ他ノ事ヲ斯ヤアラムト推量シ或バ  
懸ニ断ムル<sub>ル</sub>ノ活ヲ謂フ。其ノ例

カナハジトヤ思ヒケム 法性寺ノ北ノ端マデ  
ゾ引キタリケル。 謀ラレヌトヤ思ヒケム。

義朝道理ニヤ詰メラレケム 其ノ後ハ音ヲセ  
ズ。以上係元物 敵ヤ是ヲ見知リタリケム 即

取籠メテ是ヲ討タムトシケルガ 太平ナドノ  
如シ。



法則 動詞第二轉ノ詞ニケムタリケムタラム

スラムツラムナドノ助動辭及ビ形狀辭ヲ添ヘ  
テ第二未來ノ活ヲ顯ス。

試ニ古ノ法則ニ就キテ其ノ例ヲ舉ダレバ。四段

ニテハ行キケム行キタリケム行キタラム行キ

ツラム。一段ニテハ居ケム居タリケム居タラム。

中二段ニテハ起キタリケム起キタラム起キツ

ラム。下二段ニテハ枯レケム枯レタリケム枯レ

タラム枯レヌラム。變格ニテハ來タリケム來ツ

ラム。合成第二格ニテハ論シケム論シタリケム

論シタラムナドノ如シ。

(側注)上文ニ舉グル助動辭及ビ形狀辭ハ皆集

合シタルモノナリ。タリケムハタリトケムト

ノ連ニテケムハケトムトノ連ナリ。タラムハ

タラニムノ添ヒタルモノ。ヌラムツラムハ共

ニヌツニラムノ添ヒタルナリ。

動詞ノ自他

動詞ノ自他ハ之ヲ八種ニ分ツ。甲ハ自然ル詞。乙  
ハ自然スル詞。丙ハ物ヲ然スル詞。丁ハ他ヲ然ス



ル詞。戊ハ他ニ然スル詞。己ハ他ニ然セサスル詞。  
 庚ハ自然セラル、詞。申ハ他ニ然セラル、詞ト  
 ス。火燃エ水乾ク。燃ハ四段下ニ段。乾花  
 落クハ中二段。是自然ル詞ナリ。笑ヒテ立ツ。笑  
 開クハ四段。是自然ル詞ナリ。笑ヒテ立ツ。笑  
 十四段。退キテ思フ。亦退キ思フ。是自然スル詞ナリ。  
 火ヲ燃ヤシ水ヲ乾カス。花ヲ落トシ花ヲ開カス。  
 燃ヤシ乾カス。行ノ落トシ開カス。是物ヲ然スル詞ナ  
 リ。大ニ敵兵ヲ退ク。君ヲ立ツ。此ノ退ク立ツハ下  
 勿ズ。是他ヲ然スル詞ナリ。君ニ事フルニ礼ヲ  
 以テス。人ニ任ス。下事ニ任ス。ハ是他ニ然スル詞

ナリ。命ジテ退カス。左行カス。大工ニ家ヲ建テサ  
 ス。左行テ下ニ段。是他ニ然セサスル詞ナリ。此ノ路  
 ヨリ退カル。心中甚々惑ハル。退ケラル。惑ハル  
 自然セラル、詞ナリ。敵ニ退ケラル。人ニ立テラ  
 ル。退ケラル。立テラル。是他ニ然セラル、詞ナリ。  
 以上八種ノ詞。今簡便ノ為ニ之ヲ四種ニ縮ム。乃  
 甲シヲ合セテ第一種、シ丙丁戊ヲ合セテ第二  
 種トシ己ヲ第三種トシ庚申ヲ合セテ第四種ト  
 ス。

第一種自動ノ詞



第一種ハ自然ル詞自然スル詞ナリ。自然ルトハ天然ノ動作ヲ謂ヒ自然ストハ人為ノ動作ニテ自己ニ屬スルモノヲ謂フ。試ニ四段一段中二段下二段變格合成第一格及第二格第三格ノ詞ヨリ各其ノ一個ヲ抜キテ圖中ニ表ス。左ノ如シ。

第一種ノ圖

四	多	左	加	第一種ノ圖	第一轉	第二轉	第三轉	第四轉	第五轉
行	行	行	行	行	行	行	行	行	行
立	伏	退	退	立	伏	退	退	退	退
タ	サ	カ	カ	タ	サ	ク	ク	ク	ケ
ム	ム	ム	ム	ム	シ	ス	ス	ス	セ
立	伏	退	退	立	伏	退	退	退	退
チ	シ	キ	キ	ツ	ス	ク	ク	ク	ケ
立	伏	退	退	立	伏	退	退	退	退
ツ	ス	ク	ク	ツ	ス	ク	ク	ク	ケ
立	伏	退	退	立	伏	退	退	退	退
テ	セ	ケ	ケ	テ	セ	ケ	ケ	ケ	ケ

段 一 中 二

波	麻	良	奈	波	和	加	多	波	麻
行	行	行	行	行	行	行	行	行	行
隨	進	入	似	干	居	起	落	亡	行
ハ	マ	ラ							行
ム	ム	ム							行
隨	進	入							行
ヒ	ミ	リ							行
隨	進	入							行
フ	ム	ル							行
隨	進	入							行
フ	ム	ル							行
隨	進	入							行
ヘ	メ	レ							行

日本文法卷ノ中

三七

本堂藏



第二合成

格一第成合

格 變

良 麻 波 多 左 加 奈 加 和  
行 行 行 行 行 行 行 行 行

變  
ゼム  
變  
ジ

入 病 順 立 卧 退 往 来 飢  
レ メ ヘ テ セ ケ ヌ

リ 病 順 立 卧 退 往 来 飢  
リ メ ヘ テ セ ケ ヌ

入 病 順 立 卧 退 往 来 飢  
レ メ ヘ テ セ ケ ル

入 病 順 立 卧 退 往 来 飢  
レ メ ヘ テ セ ル

入 病 順 立 卧 退 往 来 飢  
レ メ ヘ テ セ ル

川本...

三六

桂雲堂藏版

設 二 下

段

良 也 麻 波 奈 多 左 加 良 也  
行 行 行 行 行 行 行 行 行 行

離 消 醒 仕 寐 出 瘦 解 免 老  
レ エ メ ヘ ネ デ セ ケ リ イ

離 消 醒 仕 寐 出 瘦 解 免 老  
レ エ メ ヘ ネ デ セ ケ リ イ

離 消 醒 仕 寐 出 瘦 解 免 老  
レ エ ム フ ヌ ヅ ス ク ル エ

離 消 醒 仕 寐 出 瘦 解 免 老  
レ エ ム フ ヌ ヅ ス ク ル エ

離 消 醒 仕 寐 出 瘦 解 免 老  
ル エ ム フ ル ヌ ル ス ル ム ム ム ム

離 消 醒 仕 寐 出 瘦 解 免 老  
ル エ ム フ ル ヌ ル ス ル ム ム ム ム

離 消 醒 仕 寐 出 瘦 解 免 老  
ル エ ム フ ル ヌ ル ス ル ム ム ム ム

離 消 醒 仕 寐 出 瘦 解 免 老  
ル エ ム フ ル ヌ ル ス ル ム ム ム ム

日本...

本...



第三合

存セリ存セル

右圖中ノ詞ヲ借リテ其ノ例ヲ舉グレバ四段ニ  
 テハ退キテ其ノ私ヲ顧ル。退クモノハ進ム一能  
 ハズ。行加伏シテ准ルニ。茅屋ニ伏ス。行左立チテ事ヲ  
 執ル。獨柴門ニ立ツ。行多道ニ隨ヒテ行フ。六十二シ  
 テ耳順フ。行波進ミテ取ル。其ノ進ム疾キモノハ  
 退ク一速ナリ。行麻弟子入りテハ孝アリ。初學徳ニ  
 ハル門ナリ。行良一段ニテハ似テ非ナルモノヲ惡  
 ム。顔ガ似ル。行奈沙ノ干ル時。行波君子安キニ居テ命ヲ  
 待ツ。行和中二段ニテハ風ニ興キ夜ニ寐ス。朝起ク

ル氏。行加開花地ニ落ナテ聞クニ聲ナシ。堅田ニ雁  
 ノ落ツル頃。行多敵國破レテ謀臣亡ブ。予ト汝ト偕  
 ニ亡ビム。行波曰、怨ミタリヤ。求メテ得ザレバ怒リ  
 且、怨ム。行麻我老イタリ也。罪ノ免ル、日行下二段  
 ニテハ氷解ケテ谿澗ニ流ル。解クル紐。行加形瘦セ  
 テ鶴ニ似タリ。瘦スル顔。行左出デ、ハ則チ弟アリ。出  
 ツルニ車ナシ。行多獨寐ヌル氏。行奈仕ヘテ優ナレバ  
 則學ブ。學ビテ優ナレバ則仕フ。行波我獨醒メタリ。  
 醉ノ醒ムル時。行麻日月出デ、燭火消ユ。雪ノ消ユ  
 ル時也。行道ハ須臾モ離ルベカラズ給祿ニ離ル、



モノ。良民ニ飢ウル色アリ。和變格ニテハ客ノ来  
 ル朝。加往ヌル日。奈合成第一格ニテハ敵兵已退  
 ケリ。加山野ニ卧セリ。左卓爾トシテ立テリ。多王  
 命ニ順ヘリ。波克舜モ其猶病メリ。麻既手ニ入レ  
 リ。良合成第二格ニテハ一タビ變ゼバ道ニ至ラ  
 ム。合成第三格ニテハ有司存セリナドノ如シ。  
 第二種他動ノ詞  
 第二種ハ物ヲ然スル詞。他ヲ然スル詞ナリ。蓋他  
 ヲ然ストハ此ノ動作ガ彼ニ係ルヲ謂ヒ。物ヲ然  
 ストハ此ノ動作ガ他物ニ及ボスヲ謂フナリ。試

ニ四段一段中二段下二段變格合成第一第二第  
 三格ノ詞ヨリ各其ノ一個ヲ抜キテ圖中ニ表ス  
 了左ノ如シ。

第二種ノ圖

麻行圍マム圍三	波行育ハム育ヒ	多行打タム打チ	左行興サム興シ	加行解カム解キ	第一轉	第二轉	第三轉	第四轉	第五轉
圍ム	育フ	打ツ	興ス	解ク	解ク	興ス	興ス	解ク	解ケ
圍ム	育フ	打ツ	興ス	解ク	解ク	興ス	興ス	解ク	解ケ
圍メ	育ヘ	打テ	興セ	解ケ	解ケ	興セ	興セ	解ケ	解ケ



段 二 下

和	良	也	麻	波	奈	多	左	加	也
行	行	行	行	行	行	行	行	行	行
樹	納	越	勸	從	重	立	伏	退	悔
工	レ	エ	メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	イ
樹	納	越	勸	從	重	立	伏	退	悔
工	レ	エ	メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	イ
樹	納	越	勸	從	重	立	伏	退	悔
ウ	レ	ユ	ム	フ	ヌ	ツ	ス	ク	ユ
樹	納	越	勸	從	重	立	伏	退	悔
ウ	ル	ユ	ム	フ	ヌ	ツ	ス	ク	ユ
レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ

四十一

段 二 中

段 一

麻	波	多	加	和	也	麻	奈	加	良
行	行	行	行	行	行	行	行	行	行
恨	味	閉	除	率	射	見	烹	着	知
三	ヒ	ヂ	ギ						ラ
恨	味	閉	除	率	射	見	烹	着	知
三	ヒ	ヂ	ギ						リ
恨	味	閉	除	率	射	見	烹	着	知
ハ	フ	ヅ	グ	ル	ル	ル	ル	ル	ル
恨	味	閉	除	率	射	見	烹	着	知
ハ	フ	ヅ	グ	ル	ル	ル	ル	ル	ル
恨	味	閉	除	率	射	見	烹	着	知
ム	フ	ヅ	グ	レ	レ	レ	レ	レ	レ

日本文法卷中

木野堂藏片



右圍中ノ詞ヲ借リテ其ノ例ヲ舉グレバ四段ニ  
 テハ印綬ヲ解キテ之ヲ授ク。紐ヲ解ク。加亡ビ夕  
 ル國ヲ興シ絶エタル世ヲ繼グ。戸ヲ叩キテ人ヲ  
 起ス。左鑼ヲ打チテ時ヲ報ズ。杖ヲ以テ其ノ脛ヲ  
 擊ツ。多子ヲ育ヒテ教ヘザルハ父ノ過ナリ。仁君  
 ハ能ク老ヲ養フ。波敵兵ヲ圍ムテ之ヲ虜ニス。碁  
 ヲ圍ム。麻人ヲ知ラムト欲セバ友ヲ見ヨ。恥ヲ知  
 ルハ勇ニ近シ。良一段ニテハ袴ヲ着テ劔ヲ佩ク。  
 衣ヲ着ル。加雜ヲ烹テ酒ヲ俵ム。大國ヲ治ルハ小  
 鮮ヲ烹ルガ如シ。奈物ヲ見テ價ヲ問フ。大人ヲ見

日本文法卷ノ中

學三

桂雲堂藏版

第合 三成	第 二	合 成	格一第成合					變 格			
			良 行	麻 行	波 行	多 行	左 行	加 行	左 行 為		
		論 ゼ									
		論 ジ							為		
		論 ゼ リ	論 ズ	釀 ス	知 レ リ	圍 メ リ	育 ヘ リ	打 テ リ	興 セ リ	解 ケ リ	為 ス
		論 ゼ ル	論 ズ ル	釀 ス ル	知 レ ル	圍 メ ル	育 ヘ ル	打 テ ル	興 セ ル	解 ケ ル	為 ル
			論 ス レ	釀 ス レ							為 レ

日本文法卷ノ中

桂雲堂藏版



ルニ利アリ。麻人ヲ射ハ先馬ヲ射ヨ。雉ヲ射テ三  
 矢ヲ失フ。他師ヲ率テ之ヲ攻ム。和中二段ニテハ  
 難ヲ除グル術。加戸ヲ閉ヂテ學ブ。多珍味ヲ味フ  
 波人ヲ恨ム。麻前非ヲ悔ユ。也下二段ニテハ人ヲ  
 退ケテ語ル。倭人ヲ退クル片ハ國治ル。加兵ニ伏  
 セテ俟ツ。鷲鳥ノ擊タムトスルヤ必先其ノ翼ヲ  
 伏ス。左身ヲ立テ道ヲ行ヒ名ヲ後世ニ舉グ。學校  
 ヲ建ツルニ醵金ヲ募ル。多衣ヲ重ネテ出ヅ。罪ヲ  
 重ヌ。戎狄ヲ從ヘテ歸ル。出ツルニ僕ヲ隨フ。波  
 學ヲ勸ムル說。必熟シテ之ヲ薦ム。麻庖人庖ヲ治

メスト雖尸祝樽俎ヲ越エテ之ニ代ラズ。險岨ヲ  
 越ユ。能ク諫ヲ納ル。菓ヲ入ル。ニ籠ヲ用ル。良  
 十年ノ計ハ木ヲ樹ウルニアリ。和變格ニテハ兵  
 權ヲ專ニス。左合成第一格ニテハ皇綱紐ヲ解ケ  
 リ。加家ヲ興セリ。左鼓ヲ打テリ。多能ク子ヲ育ヘ  
 リ。波碁ヲ圍メリ。麻事ヲ知レリ。良合成第二格ニテ  
 ハ禍ヲ釀ス。讀古人ヲ論ズ。讀音合成第三格ニテハ  
 當時ノ事ヲ論ゼリナドノ如シ。  
 法則物ヲ然スル詞他ヲ然スル詞ハヲノ後置  
 辞ニ從ヒ他ニ然スル詞ハニノ後置辞ニ從フ。



ヲニ從ヒタル他動詞ノ例ハ既ニ前條ニ出セリ。  
 今ニ從ヘル他動詞ノ例一二ヲ舉ゲムトス。云  
 ク四段ノ詞。他邦ニ遣ハス。朋友ニ貸ス。人民ニ諭  
 ス。以上行臣下ニ賜フ。波云ク下ニ段ノ詞。生徒ニ授  
 ク。人ニ預ク。加人ニ任ス。餘人ニ聞スベカラズ。人  
 ニ見スルヲ勿レ。左以上  
 他ニ然スル詞他ヲ然スル詞ト其ノ之ヲ區別ス  
 ルモ必竟同工一体ノ者ナリ。其ノ故ハ他ニ然ス  
 ル詞ニモニノ後置辞ノ上ニヲノ後置辞ヲ重又  
 ルヲ得ベケレバナリ。試ニ上ニ舉グル所ノ句

ニ就キテ之ヲ示ス片ハ人ヲ他邦ニ遣ハス。書籍  
 ヲ朋友ニ貸ス。趣意ヲ人民ニ諭ス。賞ヲ臣下ニ賜  
 フ。業ヲ生徒ニ授ク。金子ヲ人ニ預ク。大事ヲ人ニ  
 任ス。此ノ事ヲ餘人ニ聞スベカラズ。國ノ利器ヲ  
 人ニ見スルヲ勿レナドノ如シ。

自他ノ誤謬

言路日ニ開キ賢才日ニ進ム。言路日ニ塞キ  
 姦邪日ニ進ム。立ちテ主ト為ス。  
 開キ四加行塞キ四加行ハ他動詞ナリ。此ノ所ノ進ム  
 麻行ハ自動詞ナリ。此宜シク開ケ二加行下塞カリ行良



段四テフ自動詞ヲ用テ之ヲ一梳ニ為スベシ。立チ  
 テノ立チハ自動詞ナリ。為スハ他動詞ナリ。是亦  
 一様ニセザルベカラズ。之ヲ正スニ左ノ如シ。  
 言路日ニ開ケ賢才日ニ進ム。段四言路日ニ塞  
 リ姦邪日ニ進ム。段四言路ヲ開キ賢才ヲ進ム。  
 段下ニ立チテ主ト為ル。立テ、主ト為ス。  
 (側注)立チハ多行四段自動詞為ルハ良行四段  
 ノ自動詞立テハ多行下二段ノ他動詞為スハ  
 左行四段ノ他動詞ナリ。

第三種他動ノ詞

第三種ハ他ニ然セサスル詞ナリ。他ニ然セサス  
 トハ他ニ然セシムル謂ナリ。譬へバ某甲乙某ニ  
 命シテ進退セシメ或ハ某甲乙某ヲシテ丙某ヲ  
 左右セシムルガ如キモノヲ謂フ。其ノ法則左ノ  
 如シ。  
 法則ノ一。四段ノ詞奈行變格ノ詞ハセスル  
 スレニ連リテ他ヲ然セサスル詞トナル。  
 法則ノ二。一段中二段下二段加行變格左行變  
 格ノ詞ハサセサスルサスレニ連リテ他ヲ  
 然セサスル詞トナル。



法則ノ三。四段ノ詞左行奈行ノ變格及合成第  
 二格ノ詞ハシメシムルシムルシムレノ助動辭ヲ  
 從ヘテ他ヲ然セシムル詞トナル。  
 法則ノ四。一段中二段下二段ノ詞モ時トシテ  
 シメシムルシムレノ助動辭ヲ從フルヲア  
 リ。

(側注)第一第二ノ法則ニ軌スル詞ハ其ノ語格  
 左行下二段ノ詞ニ同ジク第三第四法則ニ軌  
 スル詞ハ其ノ語格麻行下二段ノ詞ニ同ジ。  
 第三種ノ圖

一段	ヨリ	カセ	ヨリ	變格	ル	二連	ス	ス	セ	ヨリ	四段
加行	着	サセ	奈行	往	知	麻行	波行	多行	左行	起	加行
着	サセ	似	往	知	進	養	立	立	起	退	第一轉
着	サス	似	往	知	進	養	立	立	起	退	第二轉
着	サス	似	往	知	進	養	立	立	起	退	第三轉
着	サス	似	往	知	進	養	立	立	起	退	第四轉
着	サス	似	往	知	進	養	立	立	起	退	第五轉



ルニサスル  
詞連

中二段

左行	加行	也	麻行	波行	多行	加行	和行	也	麻行
伏セサセ	退ケサセ	悔イサセ	怨ミサセ	味ヒサセ	閉ヂサセ	起キサセ	用サセ	射サセ	見サセ
伏セサセ	退ケサセ	悔イサセ	怨ミサセ	味ヒサセ	閉ヂサセ	起キサセ	用サセ	射サセ	見サセ
伏セサス	退ケサス	悔イサス	怨ミサス	味ヒサス	閉ヂサス	起キサス	用サス	射サス	見サス
伏セサスル	退ケサスル	悔イサスル	怨ミサスル	味ヒサスル	閉ヂサスル	起キサスル	用サスル	射サスル	見サスル
伏セサスレ	退ケサスレ	悔イサスレ	怨ミサスレ	味ヒサスレ	閉ヂサスレ	起キサスレ	用サスレ	射サスレ	見サスレ

下二段

ヨリ  
變格

左行	加行	和行	良行	也行	麻行	波行	奈行	多行
為サセ	来サセ	植エサセ	入レサセ	越エサセ	始メサセ	傳ヘサセ	重ネサセ	立テサセ
為サセ	来サセ	植エサセ	入レサセ	越エサセ	始メサセ	傳ヘサセ	重ネサセ	立テサセ
為サス	来サス	植エサス	入レサス	越エサス	始メサス	傳ヘサス	重ネサス	立テサス
為サスル	来サスル	植エサスル	入レサスル	越エサスル	始メサスル	傳ヘサスル	重ネサスル	立テサスル
為サスレ	来サスレ	植エサスレ	入レサスレ	越エサスレ	始メサスレ	傳ヘサスレ	重ネサスレ	立テサスレ



四段ヨリシメシムルニ連ル

良行	麻行	波行	多行	左行	加行
入ラシメ	圍マシメ	進マシメ	養ハシメ	順ハシメ	打タシメ
入ラシメ	圍マシメ	進マシメ	養ハシメ	順ハシメ	打タシメ
入ラシム	圍マシム	進マシム	養ハシム	順ハシム	打タシム
入ラシムル	圍マシムル	進マシムル	養ハシムル	順ハシムル	打タシムル
入ラシムレ	圍マシムレ	進マシムレ	養ハシムレ	順ハシムレ	打タシムレ
伏サシメ	起サシメ	立タシメ	立タシメ	立タシメ	立タシメ
伏サシム	起サシム	立タシム	立タシム	立タシム	立タシム
伏サシムル	起サシムル	立タシムル	立タシムル	立タシムル	立タシムル
伏サシムレ	起サシムレ	立タシムレ	立タシムレ	立タシムレ	立タシムレ

合或第ニ格ヨリ

一段ヨリ中ニ段ヨリ

奈行	左行	訓讀	音讀	麻行	加行	左行	声行
往ナシメ	為シメ	閱セシメ	論ゼシメ	恨ミシメ	退ケシメ	伏セシメ	立テシメ
往ナシム	為シム	閱セシム	論ゼシム	恨ミシム	退ケシム	伏セシム	立テシム
往ナシムル	為シムル	閱セシムル	論ゼシムル	恨ミシムル	退ケシムル	伏セシムル	立テシムル
往ナシムレ	為シムレ	閱セシムレ	論ゼシムレ	恨ミシムレ	退ケシムレ	伏セシムレ	立テシムレ
知ラシメ	知ラシメ	知ラシメ	知ラシメ	知ラシメ	知ラシメ	知ラシメ	知ラシメ
知ラシム	知ラシム	知ラシム	知ラシム	知ラシム	知ラシム	知ラシム	知ラシム
知ラシムル	知ラシムル	知ラシムル	知ラシムル	知ラシムル	知ラシムル	知ラシムル	知ラシムル
知ラシムレ	知ラシムレ	知ラシムレ	知ラシムレ	知ラシムレ	知ラシムレ	知ラシムレ	知ラシムレ



下二  
リ段又

奈行重ネシメ	重ネシメ	重ネシム	重ネシムル	重ネシムレ
波行仕ヘシメ	仕ヘシメ	仕ヘシム	仕ヘシムル	仕ヘシムレ
麻行勸メシメ	勸メシメ	勸メシム	勸メシムル	勸メシムレ
也行越エシメ	越エシメ	越エシム	越エシムル	越エシムレ
良行畏レシメ	畏レシメ	畏レシム	畏レシムル	畏レシムレ
和行樹エシメ	樹エシメ	樹エシム	樹エシムル	樹エシムレ

右圖中ノ詞ヲ借りテ其ノ例ヲ舉グルヲセスス  
 ルスレノ四段ニ從フモノニテハ。胡笳ヲ吹ギテ  
 敵ヲ退カス。童子ニ之ヲ起サス。雪中ニ立タス。傳  
 姆ニ之ヲ養ハス。令シテ進マス。其ノ事ヲ知ラス。

奈行變格ニテハ客ヲ往ナス。ナドノ如シ。(以上ハ  
 法則ノ一ニ準ズルモノ)

サセサス。サスル。サスレ。一段ニ從フモノニテ  
 ハ衣裳ヲ着サス。聲ヲ似サス。物ヲ見サス。鳥ヲ射  
 サス。藥ヲ用サス。中二段ニテハ朝早ク起キサス。  
 戸ヲ閉ヂサス。珍味ヲ味ヒサス。巳ヲ怨ミサス。非  
 ヲ悔イサス。下二段ニテハ敵兵ヲ退ケサス。旗鼓  
 ヲ伏セサス。家ヲ立テサス。衣ヲ重ネサス。書法ヲ  
 傳ヘサス。商賣ヲ始メサス。峠ヲ越エサス。壺ニ水  
 ヲ入レサス。場師ヲ雇ヒテ木ヲ植エサス。變格ニ



テハ人ヲ来サス事ヲセサスナドノ如シ。(以上ハ  
法則ノニニ準ズルモノ)

シメシムシムルシムレノ助動辞四段ノ詞ニ從

ヘルモノニテハ麾シテ退カシム。互ニ恨ヲ解カ

シム。橋下ニ伏サシム。檄ヲ傳ヘテ兵ヲ起サシム。

命ジテ雪中ニ立タシム。杖ニテ脛ヲ打タシム。外

夷ヲシテ我ニ順ハシム。人ヲシテ竊ニ之ヲ養ハ

シム。道ニ進マシム。碁ヲ圍マシム。幼童ヲシテ學

ニ入ラシム。其ノ道ヲ知ラシム。變格ニ從ヘルモ

ノニテハ家ニ往ナシム。權ヲ專ニセシム。合成第

二格ニ從ヘルモノニテハ書ヲ閱セシム。時務ヲ

論ゼシムナドノ如シ。(以上ハ法則ノ三ニ準ズル

モノ)

一段中二段下二段ノ詞シメシムシムルシムレ

ノ助動辞ニ連ルアリ。一段ニテハ相ヒ見シメ

トゾ。中二段ニテハ用ザルニ恨ミシメズ。下二段

ニテハ敵ヲ退ケシム。兵ヲ伏セシム。學校ヲ立テ

シム。衣ヲ襲ネシム。出デ仕ヘシム。農ヲ勸メシ

ム。山ヲ越エンム。大ニ民ノ志ヲ畏レシム。木ヲ樹

エシムナドノ如シ。(以上ハ法則ノ四ニ準ズベシ)



第四種受動及自動ノ詞

第四種ハ他ニ然セラル、詞ト自然セラル、詞ナリ。他ニ然セラルトハ我及リテ彼ノ活動ヲ受クルヲ謂フ即是受動ナリ。自然セラルトハ已自然ニ感動スルモノヲ謂フ即是自動ナリ。其ノ法則左ノ如シ。

法則ノ一。四段ノ詞ハレ<sub>レ</sub>ル<sub>ル</sub>、ル<sub>レ</sub>ニ連リテ他ニ然セラル、詞トナル。

法則ノ二。一段中二段下二段左行變格及合成第二段格ノ詞ハレ<sub>レ</sub>ラ<sub>レ</sub>ル<sub>ル</sub>、ラ<sub>レ</sub>レ<sub>レ</sub>ニ連リテ

他ニ然セラル、詞トナル。

法則ノ三。四段及奈行變格ノ詞ハ或ハレ<sub>レ</sub>ル<sub>ル</sub>、ル<sub>レ</sub>ニ連リテ自然セラル、詞トナル。

法則ノ四。一段中二段下二段加行變格及合成第二段格ノ詞ハ或ハレ<sub>レ</sub>ラ<sub>レ</sub>ル<sub>ル</sub>、ラ<sub>レ</sub>レ<sub>レ</sub>ニ連リテ自然セラル、詞トナル。

(側注)右ノ法則ニ軌スル詞ハ其ノ語格何モ良行下二段ノ詞ニ同シ。

第四種ノ圖 其ノ一。受動詞。

第一轉 第二轉 第三轉 第四轉 第五轉



下二					中二					
リ	段	又	リ	段	又	リ	段	又	リ	段
麻	行	治	波	行	奈	行	多	行	左	行
治	メ	ラ	代	ヘ	尋	テ	棄	テ	伏	セ
治	メ	ラ	代	ヘ	尋	テ	棄	テ	伏	セ
治	メ	ラ	代	ヘ	尋	テ	棄	テ	伏	セ
治	メ	ラ	代	ヘ	尋	テ	棄	テ	伏	セ
治	メ	ラ	代	ヘ	尋	テ	棄	テ	伏	セ
治	メ	ラ	代	ヘ	尋	テ	棄	テ	伏	セ
治	メ	ラ	代	ヘ	尋	テ	棄	テ	伏	セ
治	メ	ラ	代	ヘ	尋	テ	棄	テ	伏	セ
治	メ	ラ	代	ヘ	尋	テ	棄	テ	伏	セ

一ヨリ					四ヨリ					
ル	ニ	ラ	ラ	ラ	ル	ニ	ラ	ラ	ラ	
和	行	用	也	行	良	行	麻	行	多	行
用	ラ	レ	射	ラ	知	ラ	園	マ	撃	タ
用	ラ	レ	射	ラ	知	ラ	園	マ	撃	タ
用	ラ	ル	射	ラ	知	ラ	園	マ	撃	タ
用	ラ	ル	射	ラ	知	ラ	園	マ	撃	タ
用	ラ	ル	射	ラ	知	ラ	園	マ	撃	タ
用	ラ	ル	射	ラ	知	ラ	園	マ	撃	タ
用	ラ	ル	射	ラ	知	ラ	園	マ	撃	タ
用	ラ	ル	射	ラ	知	ラ	園	マ	撃	タ
用	ラ	ル	射	ラ	知	ラ	園	マ	撃	タ

五三

本



也。行越エラレ越エラレ越エラル越エラル、越エラルレ  
 良行容レラレ容レラレ容レラル容レラル、容レラルレ  
 和行得ラレ得ラレ得ラル得ラル、得ラルレ  
 變格ヨリ左行為テレ為ラレ為ラル、為ラルレ  
 合辰ヨリ訓讀罪セラレ罪セラレ罪セラル罪セラル、罪セラルレ  
 第ニ格ヨリ音讀制セラレ制セラレ制セラル制セラル、制セラルレ  
 右圖中ノ詞ヲ借りテ其ノ例ヲ舉グルニレラル  
 ・ルレノ四段ニ從フモノニテハ人ニ欺カル、  
 一アリ。小人ニ欺カル。歎願ヲ許サレタリ。罪ヲ免  
 サル。敦盛ハ熊谷直實ニ撃タル。將門ノ代タル、

ハ。人ヲ沼ムルモノハ人ニ養ハル。子ノ父母ニ養  
 ハル。恩。項禹彭城ニ圍マル。敵ニ圍マル、一三  
 匝。知ラルベキ一ヲスル一ヲ求ム。人ニ知ラル、  
 一稀シナドノ如シ。(以上ハ法則ノ一ニ準ズルモ  
 ノ)  
 ラレラルラル、ラルレノ一段ニ從フモノニテ  
 ハ狡兎死シテ走狗烹ラル。早ク人ニ見ラル。將門  
 ハ俵藤太ニ射ラレタリ。世ニ用ラル。中二段ニテ  
 ハ讒者ノ口ニ譖チラル。土寇ニ荒ビラル。人ニ恨  
 ミラル、一ナシ。陰ニ施スモノハ陽ニ報イラル。



下二段ニテハ妻ハ夫ニ扶ケラル。武力ニ伏セラ  
 ル。世ニ棄テラル、ナシ。人ニ物理ヲ尋ネラル。  
 新ニ役ヲ代ヘラル。人ヲ養フモノハ人ニ沼メラ  
 ル。梶原ハ佐々木ニ先陣ヲ越エラル。天下能ク容  
 ル、モノナシ容レラズシテ後ニ君子ヲ見ル。  
 早ク人ニ得ラル。左行變格ニテハ權ヲ專ニセラ  
 ル。合成第二格ニテハ法官ニ罪セラル。後ルハ  
 人ニ制セラルナドノ如シ。以上ハ法則ノニ準  
 スルモノ

第四種ノ圖 其ノニ。自動詞。

ヨリ段		ヨリ段								第一轉
ヲ	レ	テ	ニ	ル	ニ	ル	レ	ヲ	レ	ヲ
麻行	加行	奈行	良行	麻行	波行	多行	左行	加行	浮カレ	第一轉
見ラレ	着ラレ	死ナレ	寄ラレ	惜マレ	逢ハレ	有タレ	成サレ	浮カレ	浮カレ	第二轉
見ラレ	着ラレ	死ナレ	寄ラレ	惜マレ	逢ハレ	有タレ	成サレ	浮カレ	浮カレ	第三轉
見ラル	着ラル	死ナル	寄ラル	惜マル	逢ハル	有タル	成サル	浮カル	浮カル	第四轉
見ラル	着ラル	死ナル	寄ラル	惜マル	逢ハル	有タル	成サル	浮カル	浮カル	第五轉

日本書紀卷之六十四  
 辛四  
 皇極經世一

日本書紀卷之六十四  
 皇極經世一



日本文法卷ノ中

本雲堂藏版

ルニラレ  
詞連

下二	多行	左行	加行	良行	也行	麻行	波行	多行	加行	和行
	出デラレ	載セラレ	逃ゲラレ	下リラレ	悔イラレ	浴ミラレ	戀ヒラレ	恥ヂラレ	起キラレ	居ラレ
	出テラレ	載セラレ	逃ゲラレ	下リラレ	悔イラレ	浴ミラレ	戀ヒラレ	恥ヂラレ	起キラレ	居ラレ
	出デラル	載セラル	逃ゲラル	下リラル	悔イラル	浴ミラル	戀ヒラル	恥ヂラル	起キラル	居ラル
	出テラル	載セラル	逃ゲラル	下リラル	悔イラル	浴ミラル	戀ヒラル	恥ヂラル	起キラル	居ラル
	出デラレ	載セラレ	逃ゲラレ	下リラレ	悔イラレ	浴ミラレ	戀ヒラレ	恥ヂラレ	起キラレ	居ラレ

リ段中  
ヨニ

段ヨ  
人

變格  
ヨリ  
合成第二  
格ヨリ

ナ行	寐ネラレ	寐ネラル	寐ネラレ	寐ネラル
波行	算ヘラレ	算ヘラル	算ヘラレ	算ヘラル
麻行	縮メラレ	縮メラル	縮メラレ	縮メラル
也行	覺エラレ	覺エラル	覺エラレ	覺エラル
加行	来ラレ	来ラル	来ラレ	来ラル
右圖中ノ詞ヲ借リテ其ノ例ヲ舉グルニレ	按ゼラレ	按ゼラル	按ゼラレ	按ゼラル
ハト欲スレバ成サル奢ラザレバ永ク其ノ富ヲ	按ゼラレ	按ゼラル	按ゼラレ	按ゼラル
有タル世ニ在レバ復逢ハル、	按ゼラレ	按ゼラル	按ゼラレ	按ゼラル

五五

圭雲堂藏版



花盛道近ケレバ家ニ寄ラル。奈行變格ニテハ死  
ナレズシテ蘇生スナドノ如シ。(以上ハ法則ノ三  
ニ準ズルモノ)

ラレラルラル、ラルレノ一段ニ從フモノニテ  
ハ着物モ着ラル。窓ヨリ見ラル。此處ニ居ラル。中  
二段ニテハ今朝ハ早ク起キラル。吾ガ心ニ恥ヂ  
ラル。自<sup>オ</sup>戀ヒラル。疾愈エテ湯ヲ浴ミラル。老後ニ  
悔イラル。此ノ所ヨリ下リラル。下二段ニテハ後  
門ヨリ逃ゲラル。五十貫目ハ載セラル。雨止ミテ  
出デラル。獨寤メテ寐ネラレズ。一度ニ筭ヘラル。

伸ブルセノハ縮メララル。心ニ惑ズル氏ハ覺エラ  
ル。加行變格ニテハ再來ラレヌ。合成第二格ニテ  
ハ按ゼラル、<sup>ナドノ如シ。</sup>(以上ハ法則ノ四ニ  
準ズルモノ)

尊稱動詞

サセサスサスルサスレ或ハラレラルラル、ラ  
ルレニ連ル所ノ動詞ハ尊キ人ノ行為ヲ敬ヒテ  
言フ詞トナル。例ヘバ位ヲ受ケサスル。  
觀兵式ヲ御覽ゼラル。開業ノ典ヲ舉ゲラル  
ナドノ如シ。



自他兼用ノ動詞

動詞ノ中他ヲ然スル詞ガ時宜ニヨリ自然スル  
 詞ノ如ク活クアリ。今斯ノ詞ヲ四段中二段下  
 二段ナドヨリ引證シテ其ノ例ヲ掲グル左ノ  
 如シ。  
 四段ノ詞ニテハ風ガ吹ク。火ヲ吹ク。招ク。  
 禍ハ遠ルベカラズ。虞人ヲ招クニ旌ヲ以テス。  
 他人ヲ欺クノミナラズ。自欺クモノト謂フベ  
 シ。自君命ジテ召ス。疾ハ駕ヲ俟タズシテ行ク。自  
 君ノ臣ヲ召ス。自許ス。甚過グ。自時人之ヲ

許ス。一ナシ。過チテハ改ムルニ憚ル。勿レ。  
 人ノ一生ヲ過ツ。笑ヒテ答ヘズ。夫子之ヲ晒  
 フ。動他思ヒテ學ビザレバ則チ殆シ。之ヲ思ヒ之ヲ  
 思ヒ又重ネテ之ヲ思フ。是亦怪ハニ足ラズ。自  
 其ノ所業ヲ怪ム。動他天知ル地知ル我知ル爾知ル。  
 自人ヲ知ルモノハ哲ナリ。動他中二段ニテハ獨心  
 ニ恥ヅ。動自其ノ不能ヲ恥ヅ。怨ミタリヤ。自人ヲ  
 恨ム。動他悔ユル。遅ケレバ悔アリ。自學ハザル。一  
 ヲ悔ユ。動他下二段ニテハ天ハ自助クルモノヲ助  
 ク。上ナルハ自動自勉ムル。一能ハズシテ人ヲ勉  
 下ナルハ他動自勉ムル。一能ハズシテ人ヲ勉

五七  
 圭雲堂藏板



メシメムト欲ス難キカナ。上ナナルハ他動慮リテ  
後ニ能ク得。動自能ク人ヲ得ルモノハ王タリ。他動ナ  
ド。

受動詞尊稱動詞ノ誤謬

合成第二格ノ詞ヨリラルニ連ル受動詞或ハ尊  
稱動詞ニシテ其ノ語格ヲ誤ルモノアリ。其ハ受  
動詞ナル委任セラルヲ委任サルト誤リ尊稱動  
詞ナル布告セラルヲ布告サルト誤ル類ナリ。是  
蓋サルノ附着シタル詞ハ夫ノ左行四段ガルニ  
連リタル許サル召サル遺サル出サル第四種出ノ

リセナドノ詞ノ外更ニ之アルトナシト云フヲ  
知ラザルユエナリ。是ノ故ニ人々能ク此ノ誤ヲ  
推知シテ其ノ餘ノ遺嘱サル依頼サル差遣サル  
派出サル出張サル珍重サルナドヲモ遺嘱セラ  
ル依頼セラル差遣セラル派出セラル出張セラ  
ル珍重セラルト改ムベシ。

側注セラルノ約ハサルト為ル故ニ委任サル  
布告サルト云フモ惡シカラズトノ説アレバ  
予ハ之ヲ取ラズ。



日本文法卷ノ中終ル

日本文法卷ノ下

伊勢 阿保友一 著ス

形容詞 言トニ形状

形容詞ハ名詞ノ性質形状ヲ示スモノナリ。用言  
 ナルモノアリ。種一用言ニシテ形状辭ト合スルモ  
 ノアリ。種二体言ニシテ形状辭ヲ從フルモノアリ。  
 種三

用言ナル形容詞ハ語尾ヲクシキ或ハシクシシ  
 キニ變ズ。故ニ之ヲ久志伎ノ詞。志久志ノ詞ト云

形容詞

一 圭雲堂藏



フ  
用言ニシテ形状辭ト合フモノハ善カラヨカリ  
ヨカル善カレ正シカラタミシカリタミシカル  
正シカレト變化シ又善ケレ正シケレト變化ス  
ルナドノ類ナリ。  
体言ニシテ形状辭ヲ從フルモノハ洋々タル洋  
々タリ凜烈タル凜烈タリ儼然タル儼然タリ頑  
固ナル頑固ナリナドノ類ナリ。  
右ノ形容詞ニ就キテ用言ナル單純ノモノ(乃久  
志伎志久志)ヲ擇ビテ第一種トシ其ノ單純ナル

モノト形状辭ト結合スルモノヲ第二種トシ体  
言ノ形状辭ヲ從フルモノヲ第三種トシテ圖解  
スルヲ左ノ如シ。

形容詞ノ圖

第一種	久志伎	第一轉	連	用	截	斷	連	体
	志久志							
第二種	久支伎	第二轉	ヨク	善シ	善キ	ヨカリ	ヨカリ	善カレ
	志久志							
第三種	ヨリ	第三轉	タミシク	正シ	正シキ	ヨカリ	ヨカル	善カレ
	ゼシ者							
第四種	正シカラ	第四轉	タシカリ	タシカリ	タシカル	正シカレ	正シカレ	正シカレ
	タシカラ							

圭雲堂藏版



種

久支伎  
志久志  
ノ再変  
セシ者

第三種

体言ノ  
形状辞  
ヲ從フ  
ルモノ

(側注)

右三種ノ詞之ヲ細分スルキハ久志伎ヲ

第一種トシ志久志ヲ第二種トシ善カラ善カ  
レヲ第三種トシ正シカラ正シカレヲ第四種  
トシ善ケレヲ第五種トシ正シケレヲ第六種

善ケレ

正シケレ

洋々タリ洋々タル

凜烈タリ凜烈タル

儼然タリ儼然タル

頑固ナリ頑固ナル

トシ洋々タリ洋々タルヲ第七種トシ凜烈タ

リ凜烈タルヲ第八種トシ儼然タリ儼然タル

ヲ第九種トシ頑固ナリ頑固ナルヲ第十種ト

シ而シ之ヲ十項ニ分ツテ得ベキモ其ノ煩

シキヲ憚リテ三種ニ約メタルナリ。

圖中ニヨクタビシクヲ假名ニ為シ所以ハ此

ノ第二轉ノ詞ハ副詞ニ屬スベクシテ形容詞

中ニ用ナキユエナリ然レモ今之ヲ削ラザル

所以ハ元來副詞テフモノハ動詞ノ形容詞ニ

シテ均シク形容部内ノ者ナルガウヘ此ヲノ

日本文法卷ノ下



副詞ハ自然ノ語格ニ於テモクシキ或ハシク  
シシキト聯絡シテ轉ズル所ノ同氣脈ノ詞ナ  
レバナリ。又ヨカリヨカルタビシカリ。タビシ  
カルヲ假名ニセシ所以ハ今体文ニ用ル下稀  
ナレバナリ。

第一種ノ詞

第一種ノ詞ニ就キテ其ノ例ヲ舉グルキハ連体  
ニテハ善キ人。正シキ説。截断ニテハ性質善シ。心  
正シ。ナドノ類ナリ。其ノ之ヲ形容詞ト稱スル所  
以ハ善善キ正シキハ人説テフ名詞ノ上ニアリ

テ之ヲ形容シ善シ正シハ性質心テフ名詞ノ下  
ニアリテ之ヲ形容スレバナリ。今ヤレヤレ  
又形容詞ハ直ニ名詞ニ接セズ後置辞ヲ隔ツル  
下アリ。名詞ノミナラズ下モノニ連レル連体言  
ヲ形容スル下アリ。其ノ後置辞ヲ隔ツルモノハ  
例ヘバ其ノ人ハ善シ。其ノ説ハ正シ。置ハ後ナド  
ノ如ク其ノ連体言ヲ形容スルモノハ例ヘバ其  
ノ言フ下善シ。其ノ見ル下正シナドノ如シ。尚動  
体言ノ條ヲモ  
参考スベシ。

第二種ノ詞

日本文法卷ノ下



此ノ形容詞ハ第一轉ニテハズ又ザルノ形状辞  
 ムノ助動辞ヲ從ヘテ連体或ハ截断ノ活ヲ為シ  
 第五轉ニテハバド<sub>レ</sub>ノ接續辞ヲ從ヘテ次<sub>キ</sub>ノ句  
 ニ移ルモノナリ。其ノ例第一轉ニテハ謀善カラ  
 ズ善カラヌ事善カラザル業天氣好カラム。說正  
 シカラズ。正シカラヌ事。正シカラザル業道理正  
 シカラム。又<sub>ハ</sub>サ<sub>ル</sub>ハ連体(即名詞ヘ連ルモノナリ  
 シカラム。又<sub>ハ</sub>サ<sub>ル</sub>ハ連用截断ヲ兼ネ<sub>ル</sub>ハ連用截断  
 テハ兼<sub>ム</sub>トモ<sub>レ</sub>此ノ所ニ第五轉ニテハ政治善ケ  
 レ<sub>バ</sub>財用足ル。其ノ身正シケレ<sub>バ</sub>令セザレ<sub>レ</sub>行  
 ハルナドノ如シ。唯善カレ<sub>レ</sub>正シカレ<sub>レ</sub>ノ第五轉ノ

方ハ命令言ニシテ助辞ヲ持タザルモノナリ。其  
 ノ例都合好カレ<sub>レ</sub>心正シカレ<sub>レ</sub>ナドノ如シ。  
 (側注)此ノ第二種ノ詞ハ久志伎及ビ志久志ノ  
 第二轉ナル詞ト形状辞ノアラ<sub>レ</sub>ト結合シ  
 テ別ニ一派ノ詞ト成リタルナリ。是ノ故ニ善  
 カラハヨクアラ<sub>レ</sub>ノ約善カレ<sub>レ</sub>ハヨクアレ<sub>レ</sub>ノ約  
 ニシテ善ケレ<sub>レ</sub>ハ善カレ<sub>レ</sub>ノ變化セシナリ。正シ  
 カラハタビシクアラ<sub>レ</sub>ノ約正シカレ<sub>レ</sub>ハタビシ  
 クアレ<sub>レ</sub>ノ約ニシテ正シケレ<sub>レ</sub>ハ正シカレ<sub>レ</sub>ノ変  
 化セシナリ。



其ノクアレノカレト綴ル原由ハクアノ二音  
 約リテカト為リ直ニラレニ接キタルナリ。其  
 ノクアレノケレト約ル原由ハアノ母韻隠レ  
 テクノ子音ケト轉ジタルナリ。此ノラノ徒或ハ畧  
 學ノ徒或ハ畧  
 スルモ可ナリ。  
 善カレ正シカレハ勿カレ宜シカレ同ジカレ  
 ナド、同一ノ詞ニテ皆命令言ナリ。但、延約ノ  
 理ヲ示ス為ニ第五轉ニ置クノミナリ。  
 此ノ第二種ノ詞ハ久志伎志久志ノ詞ヨリ轉  
 ジ来ルモノナレバ其ノ詞數モ亦久志伎志久

志ト相均シト知ルベシ。

第三種ノ詞

第三種ノ詞ニ就キテ其ノ例ヲ舉グルハ、連体  
 ニテハ、洋々タル水。凜烈タル寒氣。儼然タル容貌。  
 固陋ナル人民。截断ニテハ、河水洋洋々タリ。寒威凜  
 烈タリ。其ノ容儼然タリ。人民ノ習俗固陋ナリ。ナ  
 ドノ類ナリ。其ノ他蕭々タル風聲。小心翼翼タリ。  
 崎嶇タル山路。參差タル苻菜。依然タル習慣。自見  
 ルヲ欲然タリ。澹泊ナル人。温良ナル君。ナド例證  
 頗多クシテ一舉グルニ堪ヘズ。



(側注)タリタルハトアリトアルノ約ニテ俚言  
 ノトイウテ并ルトシテアルト云フ意ナリ。ナ  
 リナルハニアリニアルノ約ニテ俚言ノデア  
 リデアアルト云フニ同ジ。此ノ形状辞ハ兩ナガ  
 ラ体言ヲ受クルモノナリ。尚形状辞ノ所ヲ合セ見ルベシ。  
 以上三種ノ詞類既之ヲ了解スルヲ得レバ次  
 ニ左ノ法則ヲ記臆スベシ。  
 法則ノ一。形容詞ハ名詞ノ前或ハ後ニアリテ  
 名詞ヲ形容ス。  
 法則ノ二。形容詞ハ名詞ノミナラズ。トモノニ

連レル連体言ノ後ニアリテ之ヲ形容ス。  
 法則ノ三。形容詞ハ後置辞ヲ隔テ、名詞ヲ形  
 容ス。  
 法則ノ四。用言ノ形容詞ハ語尾ヲクシキシク  
 シシキニ轉ス。  
 法則ノ五。久志伎。志久志ノ詞ハアラアレノ形  
 状辞ト合シテ語尾ヲ變化スルアリ。  
 法則ノ六。体言ヨリ來ル形容詞ハタリタルナ  
 リナルノ形状辞ヲ從フ。  
 (側注)形容詞ノ種類以上三種ノ外語尾ノ變化



スルモノ四種アリ。目出度仕度致度ナドノ手  
 簡ニ用ルモノヲ除ク外。今体文ニ用ル一少キ  
 ヲ以テ之ヲ畧セシナリ。今其ノ一例ヲ舉グレ  
 バ左ノ圖表ノ如シ。

第一轉 第二轉 第三轉 第四轉 第五轉

種五第	種四第	連用	截断	連体
和ケク	遥ケク	賑々シク	賑々シク	賑々シク
和ケク	遥ケク	長々シク	長々シク	長々シク
和ケク	遥ケク	憂々シク	憂々シク	憂々シク
和ケク	遥ケク	男ラシク	男ラシク	男ラシク
和ケク	遥ケク	可愛ラシク	可愛ラシク	可愛ラシク

種六第	種七第	此ノ四様ノ詞モ第二轉ハ副詞ノ部ニ入ルベキナリ。
愛タク	憂タク	男ラシク
愛タシ	憂タシ	男ラシク
愛タキ	憂タキ	男ラシク
愛タケレ	憂タケレ	男ラシク
愛タシク	憂タシク	男ラシク
愛タシキ	憂タシキ	男ラシク
愛タシケレ	憂タシケレ	男ラシク

形容詞ノ誤謬

善イ人。正シイ説。其ノ人ハ善イ。其ノ説ハ正シイ。

是宜シク善キ。正シキ。善シ。正シト訂正スベシ。法

桂雲堂藏版



日本文法卷ノ下

杜雲堂藏

則ノ四ニ云ク用言ノ形容詞ハ語尾ヲクシキシクシシキニ轉ズト。

(側注)善イ正シイナドノ詞中古以來音便ト稱

ヘテ用<sup>キ</sup>來タル<sup>レ</sup>アレ<sup>レ</sup>初學ノ徒ニ向ヒテ多

端ヲ教フルハ甚<sup>ク</sup>取ラザル所ナリ。故ニ之ヲ誤

謬ノ一二數フルナリ。他<sup>ノ</sup>如ク音便モ盡<sup>シ</sup>是

人心恟々。四隣寂寥。瑟ヲ鼓ク<sup>レ</sup>錚爾。

右ノ三句宜シクタリノ形状辞ヲ從ヘテ恟々タ

リ。寂寥タリ。錚爾タリト為スベシ。法則ノ六ニ云

ク体言ヨリ來ル。形容詞ハタリノ形状辞ヲ從フ

ト。尚<sup>ハ</sup>偽<sup>ニ</sup>名<sup>ノ</sup>詞<sup>ト</sup>ス<sup>ベ</sup>シ<sup>ト</sup>條

截断 連体

前條既舉グルガ如ク。形容詞モ動詞ニ同ジク第

三轉ヲ截断第四轉ヲ連体トス。第二轉ヲ連用ト

條中ニ說又第四轉ヨリ名詞ニ連リテ其ノ之ヲ

形容スルノミナラズ。一<sup>レ</sup>モ<sup>レ</sup>ノ<sup>レ</sup>助辞ニ連合シテ

半名詞ノ状ヲ装フ<sup>レ</sup>アリ。是<sup>レ</sup>又<sup>レ</sup>動詞ト其ノ例左

ノ如シ。

山ノ高キ<sup>レ</sup>數<sup>レ</sup>儼ナリ。心ノ相<sup>レ</sup>同ジキモノア

リ。各國ノ風土異ナル<sup>レ</sup>アリ。婦權ノ大ナ

日本文法卷ノ下

杜雲堂藏



ル<sub>1</sub>真ニ驚クニ堪ヘタリ。 優美ニシテ品致  
アル<sub>1</sub>歐洲皆之ヲ稱ス。

(側注)右ノ句中<sub>1</sub>モノヲ缺ク片ハ誤謬タル<sub>1</sub>  
ヲ免レズ。

副詞 一部分ニ 榊頭ノ詞ニ名ケル  
ヲ形状言トモ名ク。

副詞ハ動詞ノ上ニアリテ其ノ状態分量位地順  
序時刺決定疑問ナドヲ示スモノナリ。又動詞ノ  
外形容詞副詞ヲモ形状スル<sub>1</sub>アリ。其ノ語法ハ  
凡テ連用ナリ。  
副詞ニ數種アリ。用言ナル形容詞ヨリ来ルモノ

アリ。之ヲ形容詞狀ノ副詞ト名ク。 第一用言ナル

動詞ニテ或ハ二ノ助辭ヲ添ヘテ副詞ト為スモ

ノアリ。之ヲ動詞狀ノ副詞ト名ク。 第二又用言ナ

ル動詞ノ延<sub>1</sub>詞ニハノ助辭ヲ添ヘタルモノアリ

第三体言ヨリ来ルモノアリ。 第四体言ニ二ノ助

辭ヲ添ヘタルモノアリ。 第五二熟語音讀ノ体言

ニ二ノ助辭ヲ添ヘタルモノアリ。 第六二熟語音

讀ノ体言ニトシテヲ添ヘクルモノアリ。 第七其

ノ圖左ノ如シ。

副詞ノ圖



日本文法卷下

桂雲堂藏版

第一種 善ク 厚ク 正シク 同ジク

第二種 妄ニ 丘ニ 嘗テ 却テ

第三種 恐ラクハ 願ハクハ

第四種 聊カ 頗ル 愈ク 益ク

第五種 直ニ 速ニ

第六種 深切ニ 縦横ニ

第七種 喟然トノ 孜々トノ

(側注)右七種ノ詞之ヲ細分スル片ハ善ク厚ク

ヲ第一種トシ正シク同ジクヲ第二種トシ遂

ニ丘ニヲ第三種トシ嘗テ却テヲ第四種トシ

恐ラクハ願ハクハヲ第五種トシ聊頗ヲ第六

種トシ愈益ヲ第七種トシ直ニ速ニヲ第八種

トシ深切ニ縦横ニヲ第九種トシ喟然トノ孜

々トノヲ第十種トシ之ヲ十項ニ分ツヲ得

ベキモ其ノ煩シキヲ憚リテ七種ニ約メタ

ルナリ

第一種ノ詞

第一種ノ詞ニ就キテ其ノ例ヲ舉グル片ハ善ク

讓ル厚ク接ス正シク見ル同ジク行クナドノ如

シ此ノ内久志伎ノ詞ハクノ字ヲ語尾ニシ志久

日本文法卷下

桂雲堂藏版



志ノ詞ハシクノ字ヲ語尾ニスルナリ。此ハ詞類  
往時ノハ形類  
状言ト名  
ケタリ。

第二種ノ詞

第二種ノ詞ニテ其ノ例ヲ舉グルルハ。妄ニ席ニ  
倍ス。互ニ語ル。嘗テ聞ク。却テ衰フ。ナドノ如シ。此  
ラノ詞ハ原動詞タリト雖。凡副詞ニ轉ゼシ上ハ  
唯ニテノ助辭ノミヲ附ケテ動詞ト辨シ易カラ  
シムルナリ。

(側注) 動詞ナレバ妄リニ。互ヒニ。嘗チテ。却リテ。  
ト書クベキヲ今ヒチリノ送假名ヲ省キテ之

ヨ區別シタルナリ。

第三種ノ詞

第三種ノ詞ニテ其ノ例ヲ舉グルルハ。恐ラクハ  
終ヲ全クセザラム。終ヲ全クセヌ  
キヅカウト云フヲ願ハクハ  
教ヘヲ受ケム。ナドノ如シ。

(側注) ラクハルノ延ビタルモノニテハクハフ  
ノ延語ナリ。故ニラクヲ約ムレバルトナリハ  
クヲ約ムレバフトナル其ノ圖式左ノ如シ。



其ノ他取ヅラク  
ハナドモ之ニ倣



テ喻ルベシ。

第四種ノ詞

第四種ノ詞ニテ其ノ例ヲ舉グルルキハ聊集ル。頗貴シ。愈高シ。益盛ナリ。ナドノ如シ。此ラノ詞ハ訓讀ナレバ体言ナレバ宜シク其ノ語尾ヲ省クベキニ。今之ヲ存スル所以ハ。讀者ノ名詞ト混ズルノ患ヲ除カムガ為ナリ。是ノ故ニ此ラノ副詞ヲ使用スルニハ。細字ノ假名ヲ漢字ノ傍ニ附ケテ用言ト區別ヲ為スベシ。夫ノ聊力頗ル愈々益々益スナド、書スルハ拙ニシテ且陋ナリト謂

フベシ。

第五種ノ詞

第五種ノ詞ニテ其ノ例ヲ舉グルルキハ直ニ歸ル。速ニ行ク。ナドノ如シ。此ノ副詞ハ訓讀ノ体言ノ直速ニニノ助辞ヲ添ヘタルモノナレバ第四種ノ者ト異ナリ。混シ視ルト勿レ。

第六種ノ詞

第六種ノ詞ニテ其ノ例ヲ舉グルルキハ深切ニ待遇ス。縦横ニ格闘ス。ナドノ如シ。此ノ詞ハ音讀ノ熟語ニシテ詞類頗多シ。



第七種ノ詞

第七種ノ詞ニテ其ノ例ヲ舉グルルキハ喟然トノ  
歎ジテ曰ク。攷々トノ勉ム。ナドノ如シ。此ノ詞モ  
音讀ノ熟語ニシテ詞類頗多シ。

(側注)メハシテニ通ズ為ノ假字ナリ。故ニシテ  
メ何ヲ用ルモ可ナリ。

以上七種ノ詞類既ニ之ヲ了解スルヲ得バ次  
ニ左ノ法則ヲ記臆スベシ。  
法則ノ一。副詞ハ動詞ヲ形状ス。又形容詞副詞  
ヲ形状ス。

法則ノ二。形容詞狀ノ副詞ハクシクノ語尾ヲ  
存ス。

法則ノ三。動詞狀ノ副詞ハ第二轉ノ詞ニテ或  
ハ二ノ助辭ヲ添フルモノトス。但此ノ時ニハ動  
詞ノ語尾ヲ顯サヌヲ以テ副詞タルヲ證ス。

法則ノ四。動詞ノ延詞ハハノ助辭ヲ添フベシ。  
法則ノ五。体言ニシテ助辭ヲ持タヌ副詞ハ小

キ假名ヲ語傍ニ附着スベシ。  
法則ノ六。一語或ハ二熟語ノ体言ノ副詞ハ二  
ノ助辭ヲ從フルヲアリ。



法則ノ七。ニ熟語ノ体言ハトシテノ助辞ヲ得  
テ副詞ト為ルヲ得ベシ。

副詞ノ誤謬

善フ譲ル。正シフ見ル。

善フ正シフハ誤ナリ。善ク正シクト為スベシ。法

則ノニニ云ク形容詞状ノ副詞ハクシクノ語尾

ヲ存スト。其ノ他。節ヲ全フス。國ヲ同ジフス。

價ヲ均シフス。ナドモ之ヲ推シテ悟ルベシ。

善ウ譲ル。正シウ見ル。

善ウ正シウハ善ク正シクト訂正スベシ。此ラノ

詞ハ中古以来ノ音便俗語ト云フナレバ前條ノ

如キ誤ニハ非ズト雖凡初學ノ為ニ甚取ラザル

所ナリ。故ニ今之ヲ誤謬ノ一二數フ。法則ノ二ニ

云ク形容詞状ノ云々ト。

○聊カ聊サカ。頗ル。頗ブル。愈々。愈ヨ。益々。益ス。

此ノ書キ方善カラズ宜シク聊頗愈益ト訂正ス

ベシ。法則ノ五ニ云ク。体言ニシテ助辞ヲ持タヌ

副詞ハ小キ假名ヲ語傍ニ附着スベシト。其ノ他。

蓋シ。未ダ。乃チ。必ズ。必ラズ。猶ホ。會々。抑々。屢々。

各々。寧口。ナドモ之ニ準ジテ正スベシ。



(側注) 試ニ之ヲ正ス。左ノ如シ。蓋未<sup>レ</sup>乃<sup>レ</sup>必ス猶<sup>ホ</sup>會<sup>ハ</sup>抑<sup>ハ</sup>屢<sup>ク</sup>各<sup>ノ</sup>寧<sup>カ</sup>

○直ナニ。速カニ。縦横格闘ス。東西奔走ス。是誤<sup>レ</sup>リ。宜シク直ニ速ニ縦横ニ格闘ス。東西ニ奔走ス。ト訂正スベシ。法則ノ六ニ云ク。一語或ハニ熟語ノ体言ノ副詞ハニノ助辭ヲ從フル<sup>レ</sup>アリト。  
○顔淵喟然嘆ジテ曰ク。揚々自得セリ。是誤<sup>レ</sup>リ。喟然トノ揚々トノト訂正スベシ。法則ノ七ニ云ク。ニ熟語ノ体言ハトノノ助辭ヲ得テ

副詞ト為ル<sup>レ</sup>ヲ得ベシト。其ノ他。其ノ色慘淡煙霏ビ雲歛ル。其ノ氣慄冽人ノ肌骨ニ砭ス。其ノ意蕭條山川寂寥タリ。凄々切々呼喚奮發ス。佳木蔥籠悅フベシ。蘇子愀然襟ヲ正シクシ跪坐シテ曰ク。ナドノ誤ヲモ是ニ倣ヒテ正スベシ。

後置辭

後置辭ハ名詞代名詞ノ後ニアリテ種々ナル事情ヲ現ス辭ナリ。其ノ數二十有六。乃左ノ如シ。  
一。ガ。二。ヲ。三。ヘ。四。ハ。五。モ。

後置辭ハ名詞代名詞ノ後ニアリテ種々ナル事情ヲ現ス辭ナリ。其ノ數二十有六。乃左ノ如シ。



ゾ。 ナム。 カ。 ヤ。 コソ。 ヨリ。 マデ。  
 ノミ。 ト。 テフ。 ダニ。 サヘ。 スラ。 カラ。  
 ナカラ。 バカリ。 ゴトニ。 ナド。 ラ。

後置辞ノ釋義及ビ用法

ノ。 名詞代名詞ヲ承クル辞ナリ。其ノ例。

礼ノ用ハ和ヲ貴シトス。君子ノ天下ニ於ケル

ヲ。 以上名詞。 爾ノ知レル所ヲ舉ゲヨ。 代名詞

信ズルノ厚キ動詞ヲ承クノ名。 ナドノ如シ。

ノハ動詞助動辞形状辞ノ類ヲ承クルナシ。其

ノ之ヲ承クルモノハ誤謬ナリ。畫訂正セザルベ

カラズ。是ノ故ニ。鬼神ヲ信ズルノ教門。其ノ

信ゼザルノ教派。開明ノ域ニ進マシムルノ道。

最過ツノ甚シキモノ。其ノ亡ブルノ後。ナ

ドノ句ハ宜シク之ニ所或ハノ字ヲ挿入シテ

信ズル所ノ。 信ゼザル所ノ。 進マシムル所

ノ。 過ツノ。 亡ブルノ。 ト其ノ誤謬ヲ正

スベシ。

(例法) 所ハ關係代名詞ニシテ過ソ亡ブル

ハ動詞状ノ名詞ナレバ共ニノニ連続スル

ヲ得タルナリ。法則ニ云クノハ名詞代名詞ヲ

日本文法卷ノ下



承クト。

ガ。ノニ通ズル辞ナリ唯其ノ異ナル所ハノハ  
語勢ノ緩ナル片ニ用井ガハ語勢ノ急ナル片ニ  
用ル。ガノ名詞ヲ受クル例左ノ如シ。

管仲ガ器小シキナルカテ。賜ガ牆ハ肩ニ及  
ベリ。

ノガニ緩急遠近ノ別アル例證。

子貢カ曰ク宮牆ニ譬フレバ賜ガ牆ハ肩ニ及  
ベリ。室家ノ好ヲ闕ヒ見テム夫子ノ牆ハ數仞  
ナリ其ノ門ヲ得テ入ラズバ云々。人ノ已ヲ

知ラザルヲ患ヒサレ。已ガ人ヲ知ラザルヲ

ヲ患ヘヨ。以上管原点  
論語ヲ引ク。

二。ヲ。ニハ地位所在及ビ目的ヲ指シ示ス

ニ用井。ヲハ物ヲ領シ他ヲ役スルヲニ用ル。ニト

アレバ。彼處へ致サル。意アリ。ヲトアレバ。此ノ

物ヲ使フ意アリ。ニハ指ス所ノ中ニ物ヲ遣リ居

エテ云フ意アリ。ヲハ此ノ物ヲ言ヒテ其ノ事ニ

兼ネ合セ或ハ其ノ事ヲ言ヒテ此ノ物ニ束ネ合

スル意アリ。其ノ例左ノ如シ。  
利ヲ求ムルハ市ニ於テシ名ヲ求ムルハ朝ニ



於テス。能ク礼讓ヲ以テ國ヲ為メバ何カテ  
 ラム。士道ニ志シテ惡衣惡食ヲ恥ヅルハ未  
 與ニ議ルニ足ラズ。朋友ニハ信ゼラレム。  
 朋友ヲバ信アラシメム。  
 (側注)又他ニ体言ニ附着シテ副詞ヲ造スモノ  
 アリ。其ハ。學ビテ時ニ之ヲ習フ。大ニ民ノ  
 志ヲ畏レシム。ナドノ如シ。此ラハ今説ク所  
 ニシモノニ異ナリ。  
 後置辞ナルヲ用ルベキ所ニ誤リテ阿行ノオ  
 ヲ用ルヲアリ能ク注意シテ其ノ過ヲ躰グヲ勿

レ。其ハ。況ヤ庶民ニ於テオヤト云フ類ナリ。  
 へ。大抵ニ似タリ。唯ニハ既然ルヲニ用井。へ  
 ハ未<sup>タ</sup>然ラザルヲ預言フ片ニ用ル。譬へバ。東京  
 ニ行キ。ト書ク片ハ。我が身既<sup>ニ</sup>東京ニ到リタル上  
 ニテ言フナレバ。東京へ行カム。ト書ク片ハ其  
 ノ身未<sup>ク</sup>東京ニ到ラザルニ言フナリ。是ノ故ニ  
 へハ其ノ所ニ未<sup>ク</sup>至ラズシテ其ノ方ヲ指シテ云  
 フ意ナリト知ルベシ。公私用文ニ私方<sup>ハ</sup>某<sup>江</sup>  
 役所<sup>江</sup>ナド、認メタル<sup>江</sup>ハへノ誤ナラムカ。  
 ハ。モ。ハハ事物ヲ分ツニ用井モハ事物ヲ併



スルニ用ル。其ノ例左ノ如シ。  
爾ハ爾タリ我ハ我タリ。舜モ人ナリ我モ人ナリ。

法則 文章中ニハモノ後置辞上ニ懸ル片ハ其ノ下ナル結語ノ動詞形容詞助動辞形状辞ハ必其ノ第三轉ノ所ニテ結ブベシ。

ハモゾナムヤカコソノ七助辞ハ古来係辞ト稱ヘテ和歌ニモ文章ニモ用井来タリシヲ今体文流行スルニ至リテハモノ外ゾナムヤカ

コソナドヲ用ルモノ地ヲ掃ヒテ盡クルガ如シ。是ノ故ニ今ゾナムヤカコソヲ一種類トシ。他ノ辞ヨリ分離シテ之ヲ述ブ。蓋語氣今体文ト少シク異ナル所アルユエナリ。

物ヲ指シ定ムル辞ナリ。其ノ例左ノ如シ。廿八騎ゾ具シタリケル。三龍ノ上人觀空ゾマ井ラレケル。親ノ心ゾアハレナル。三公内覽ノセ<sup>宣</sup>ン<sup>吉</sup>コレゾ<sup>ハ</sup>ジメナル。以上保元物火出ル程ゾ<sup>戰</sup>ケル。二十餘町ゾ引タリケル。討ベキ搦ゾ<sup>ナ</sup>カリケル。以上太平



ナム。ゾニ近キ辞ナリ。

ヤ。カ。此ラノ辞ハ事物ヲ疑ヒテ言ヒ出スモ  
ノニシテ他ノ後置辞トハ違ヒ。疑問ノ意ヲモ兼  
ネ含ミタリ。其ノ例左ノ如シ。

マサシキカ<sup>五</sup>ンナギヤ有ルト。仰ケレバ保元物語ヲ引

ク。生テ歸ル者ヤ有ルベキトテ。左様ノ事仕

ルベキ様ヤアルト云テ。何程ノ事カ有ルベ

キト。何程ノ怖畏カ有ルベキニ以上太平記ヲ引ク

側注右ノ外言ヒ居エテ意ヲ持タスルヤアリ

今体文ニテ其ノ例ヲ舉グレバ。賜ヤ始テ與

ニ詩ヲ言フベシト云ヘル類ナリ。

呼召ノカアリ。參カ吾ガ道一ヲ以テ之ヲ貫

ク。ト云ヘル類ナリ。

詠歎ノカヤアリ。逝クモノハ斯ノ如キカ。晝

夜ヲ舍メズ。人知ラズシカルヲ温ラズ。亦君

子ナラズヤ。ト云ヘル類ナリ。

疑問ノカヤアリ。仲由冉求ハ大臣ト謂フベ

シヤ。曰ク有リヤ。求メタルカ抑與ヘタル

カ。ト云ヘル類ナリ。再助動辭ノ此ラハ總テ

後置辞ト云フニ非レ。聊序ニ迷ブルナリ。

日本文法卷下 二十一 佳堂藏反



日本文法卷下

桂雲堂藏本

コソ。 數多キ中ニ就キラ其ノ重キモノヲ擇ビ  
出シテ指シ示ス意アリゾニ比スレバニ段重キ  
方ナリ其ノ例左ノ如シ。

重仁親王コソ帝位ニソナハリ賜フベキニ思  
ノ外ニ又四人宮ニコエラレヌルコソ口オシ  
ケレ。 ワガ身コソクラ井ニカヘリツカズト  
モアレシゲヒト親王ハ一定今度ハ位ニツカ  
セ賜ハム。 義朝コソ坂東ノ立ノ者ニテ云々  
中ツキシタガフ所ノ兵共皆シカルベキモノ  
共ニテ候へ。以上保元物語ヲ引ク。 御心ノ中コソ悲シ

ケレ。太平記ヲ引ク。

(側注)ゾナムヤコソノ後置辞ハ名詞、代名詞ヲ

承クルノミナラズ他ノ後置辞ヲ承クルアリ。  
形状辞、接續辞ヲ承クルアリ。動詞、副詞ナ  
ドヲ承クルアリ。昔時ノ歴史(乃保元物語、平  
家物語、太平記ノ類)ニ其ノ例頗多シ。左ニ其ノ  
一ニヲ舉グ。  
先帝ヲバ新院トゾ申シケル。ソノセイ一千  
ヨトゾシルシケル。心ノ闇ヲマ照スラン  
ト。シゲヒト親王ヲ位ニツケ奉ラントヤオ

日本文法卷下

二二

桂雲堂藏本



ボシケル。叶ハジトヤ思ヒケン。近衛院世  
 ラハヤクウセサセ賜ヒシハ新院ジユ<sup>兄</sup>ノシ  
 奉リ賜ヒシ故トナムオボシメシケル。此ニ  
 三箇年ハ合戦ノ營ノ外ハ他事アルマジトコ  
 ノ思ヒシカ云々。以上他クノ後置  
 紐人<sup>都</sup>へ打テゾノボリケル。アザ笑テゾ立  
 タリケル。同ウ<sup>死</sup>又トモ敵ニ逢テコソ死ニ  
 クケレ。以上接續例。打死シテ名ヲ残シケル  
 コソ哀ナレ。承ク<sup>形</sup>状<sup>例</sup>ヲ三チニ入セ賜フゾメ  
 テタキ。動詞例。承<sup>尚</sup>モ覺束ナクヤ思ヒケム

副詞例(以上ノ例ハ後置辞ノ使用方ヲ示サム  
 ガ為ニ引證セシマデナリ。其ノ他ノ動詞ニ至  
 リテハ打テテ笑ヒテ逢ヒテヲ打テ笑テ逢テ  
 ト畧シ同ジクヲ同ウト音便ニ書クナド反  
 テ誤ラ傳フル弊ナキニ非ズ。讀者能ク是非ヲ  
 判断シテ取舍スル所アレ。

法則 文章中ゾナムヤカノ後置辞上ニ懸ル片  
 ハ其ノ下ナル結語ノ助動辞。形状辞。動詞。形容詞  
 ナドハ必其ノ第四轉ノ詞ニテ結ブベシ。コソノ  
 後置辞上ニ懸ル片ハ其ノ下ナル結語ノ助動辞。



形状辞、動詞、形容詞、ナドハ必其ノ第五轉ノ詞ニテ結ブベシ。

側注試ニ此ノ法則ト前條ニ舉グルハモノ法則トヲ合セテ簡畧ナル圖表ニ製シテ之ヲ示ス。左ノ如シ。

後置辞ニテ懸リ	ハ、モ、 徒	第三轉ノ辞或ハ詞
動形状辞助動辞ニテ結ブ	ゾ、ム、ヤ、カ、	第四轉ノ辞或ハ詞
	コ、ソ、	第五轉ノ辞或ハ詞

前條ニサ一ノ引證中ヨリ抄出シテ之ヲ解釋ス

ル片ハゾヤカト懸リテケルナルアルベキト結ビタルハ是乃第四轉ニテ結ビシナリ。其ノコソト懸リテケレアレ候ヘト結ビタルハ是乃第五轉ニテ結ビシナリ。餘ハ推シテ知ルベシ。

徒トハ係辞乃後置辞ナクシテ名詞、代名詞ナドヨリ直ニ懸ルモノヲ名ク。徒ハタ。

右ノ圖表并ニ圖解ナド之ヲ丁寧詳密ニセザルユエハ蓋今文ニ必用ナラザルヲ以テナリ。ヨリ。マデ。ヨリハ事物或ハ地位ヲ定メ置キ



テ其ヨリ出ヅルヲ示ス辞ナリ。マデハ其ノ處  
マデ行き至ルヲ示ス辞ナリ。其ノ例左ノ如シ。  
東京ヨリ西京マデ百卅一里。昨日ヨリ今日  
マテ。

(側注)漢文ニテ由平陸之齊。自南門入。從此

道至吾軍。ナド、書キ別クベキモ、今文ニテ

ハ之ヲ一ノヨリニ兼ネ總ブルモノト知ルベ

シ。次ノ而已耳モ亦然リ。

ノミ。唯其ノ物其ノ事バカリニシテ他ノ物他

ノ事ヲ交ヘズ。一條ニ立テ、云フ辞ナリ。其ノ例

苟ニ我ヲ用ルモノアラバ期月ノミニシテ可

ナラム。夫子ノ道ハ忠恕ノミナリ。ナドノ

如シ。

ト。句中ニ隔テハレ詞ヲ切りテ一々之ヲ指シ

示ス辞ナリ。故ニ常ニ事物ト事物トノ中間ニア

リ。其ノ例左ノ如シ。

聖ト仁トノ如キハ。吾ト爾ト之アルカ。

テフトイフノ約リタル辞ナリ。或ハ之ヲチフ

氏云ヘリ。又トフトモ

ダニ。其ノ一ヲ言ヒテ其ノ餘ヲ思ハセ明ラメサ



セタル辞ナリ。其ノ例左ノ如シ。

汝ガ主ノ清盛ヲダニアハヌ敵ト思フナリ。元保

語物(此ハ後置辞ノヲ承ケタル方ナレバ此ノ

ヲヲ省キテモ亦通ズルヨリ暫引用セシナリ)

(側注)漢籍論語ノ訓点ニ蔓草ダモ猶除クベ

カラズ況ヤ君ノ寵弟ヲヤ。吾復夢ニダモ周

公ヲ見ズ。ニヲ承クレバ参考ナド見ユレ

元来ダモハダニモノ略語ナレバダニノ方ヲ

用ルヲ善シトス。

サヘ。有ルガ上ニ添ヒタル意ノ辞ナリ。其ノ例

左ノ如シ。

或ヒト子産ヲ問フ。子ノ曰ク惠人ナリ。子西ヲ

問フ。曰ク彼ヲサヘニヤ彼ヲサヘニヤ。子ノ

曰ク我未仁ヲ好スルモノヲ見ズ。不仁ヲ惡ス

ルモノヲサヘニ。仁ヲ好スルモノニハ以テ尚

フルヲナシ。不仁ヲ惡スルモノハ其仁ヲスル

ナリ。以上管原点論語ヲ引ク。○此ヲハ

スラ。俚言ノデサヘト云フニ同ジ其ノ例左ノ

如シ。

獸相食ムスラ人之ヲ惡ム。民ノ父母ト為リテ

日本文法卷一

林雪堂齋



政ヲ行フニ歎ヲ率井テ人ヲ食マシムルコトヲ免レズ。惡ニゾ其ノ民ノ父母タルニアラムヤ。

此ハ動詞ヲ承クナレド  
参考ノ為ニ引クナリ。

カラ。其ノ事物ノ上ニアリテ外ヲ待タザルヲ云フナリ。

ナガラ。本来ノ隨ナルヲ云フ辞ナリ其ノ例左

ノ如シ。

惟<sup>坐</sup>ナカラニシテ亡ブルヲ待タムヨリ之ヲ

伐ツニ如カム。長策ヲ以テ坐ナガラニ天下

ヲ定メムト欲ス。

バカリ。長<sup>ナ</sup>廣<sup>ナ</sup>アルモノ或ハ數アルモノニ分限

ヲ立テ、唯此ホドダケト云フ辞ナリ。

ゴト。毎々ノ字ノ意ナリ其ノ例

日ゴトニ思ハザルハナシ。ナドノ如シ。

ナド。一物ニ定メザルヲ云フ。

ラ。等ノ字ノ意ニシテ等シク並ブモノアル片

ニ云フ辞ナリ。

後置辞ノ解義畢ルニ臨ミテ聊<sup>カ</sup>後置辞重用ノ例

ヲ舉ゲムトス。

後置辞重用ノ例



仁ヲ好スルモノニハ以テ尚フルヲナシ。造  
次ニモ必<sub>レ</sub>是ニ於テシ。顛沛ニモ必<sub>レ</sub>是ニ於テス。  
富ト貴トハ是人ノ欲スル所ナリ。是ヲモ  
忍ブ可クバ孰<sub>レ</sub>カ忍ブベカラザラム。

ト云ヘル句中ノニハニモトハヲモヲカナドハ  
後置辞ノ重リタルナリ。

用言ヲ承クル後置辞

テフ。バカリ。ノニ辞ハ第三轉ノ用言(即截断  
言ナル動詞)ヲモ承ク。

(側注)トハ第三轉ナル動詞。形容詞。形状辞ナド  
ヲ承クルトアレバ此ハ接續辞ノ部内ニ於テ  
述ブベシ。

ガ。ニ。ヲ。ハ。モ。ゾ。ナム。カ。ヤ。コソ。  
ヨリ。マデ。ダニ。サヘ。スラ。カラ。バ

カリ。ゴト。ノ十八辞ハ第四轉ノ用言(即連体  
言ナル動詞)ヲモ承ク。

(側注)愚按ズルニ第四轉ノ動詞ニテ後置辞ヲ  
從フルモノハ恐ラクハ純粹ナル動詞ニアラ  
ズシテ動詞状ノ名詞ヨリトモノヲ省略セシ



モノナラムカ。其ノ故ハ第四轉ノ詞ノ下ニ下  
モノ或ハ片ノ助辭ヲ挿入スルモ。毫モ難澁ノ  
跡ナケレバナリ。乃左ニ示スガ如シ。  
往ク(モノ)ヲ送り来タル(モノ)ヲ迎へ。其ノ至  
ル(下)ハ爾ノカナリ其ノ中ル(下)ハ爾ノカニ非  
ズ。来ル(片)ヨリ歸ル(片)マデ 其ノ歸ル(片)ニ  
及ビテ云々。

形状辞

形状辞ニ七種アリ。第一種ハ体言ニ合シテ一種

ノ形容詞ヲ成スモノナリ。第二種ハ名詞ニ從ヒ  
テ其ノ存在ヲ指シ示スモノナリ。第三種ハ動詞  
或ハ他ノ形状辞ニ連リテ事物ノ虚否ヲ顯スモ  
ノナリ。第四種ハ名詞ニ從ヒテ他ハ即此ナリト  
解説スルモノナリ。第五種ハ動詞或ハ他ノ形状  
辞ニ從ヒテ其ノ已定リタル活動ヲ形状スルモ  
ノナリ。第六種ハ動詞或ハ他ノ形状辞ニ從ヒテ  
其ノ過去ニアラザル活動ヲ形状スルモノナリ。  
第七種ハ動詞ニ從ヒテ不可ヲ示スモノナリ。乃  
左ノ圖表ノ如シ。

日本文法 形状辞 二十九 圭雲堂藏



日本文法卷之八  
 形状辞ノ圖  
 ナ圖中ノ  
 示ハ辞ノ

第一種	第二種	第三種	第四種	第五種	第一轉	第二轉	第三轉	第四轉	第五轉
タラ	アラ	ザラ	ナラ	ケラ	タラ	タリ	タリ	タル	タレ
タリ	アリ	ザリ	ナリ	ケリ	タリ	タリ	タル	タル	タレ
タリ	タリ	ナリ	ナリ	ケリ	タリ	タリ	タル	タル	タレ
タリ	タリ	ナリ	ナリ	ケリ	タリ	タリ	タル	タル	タレ
タリ	タリ	ナリ	ナリ	ケリ	タリ	タリ	タル	タル	タレ

第七種	第六種	第一種ノ辞	第一種ノ辞
○	○	○	○
マ	メ	マ	メ
ジ	リ	ジ	リ
ク	○	ク	○
マ	ナ	マ	ナ
ジ	リ	ジ	リ
マ	ナ	マ	ナ
ジ	ル	ジ	ル
キ	メ	キ	メ
マ	ナ	マ	ナ
ジ	レ	ジ	レ
ケ	○	ケ	○

形容ノ意ヲ含マシムル辞ナリ俚言ノトイウテ  
 アルトトアレノ約リニテ体言ニ附キ其ヲシテ  
 タラタリタルタルハ原トアラトアリ  
 三十



立ツ所アルガ如ク卓爾タリ。公門ニ入ルキ  
ハ鞠躬如タリ。魏々タルカナ其成功アル。

第二種ノ辞

ア。アリ。アル。アレ。此ハ名詞ニ從ヒテ  
其ノ事物ノ存在ヲ指シ示ス辞ナリ其ノ例左ノ  
如シ。  
罪アラバ敢テ赦サジ。言ヒテ信アラバ。  
上ハ第一轉ノ辞ガ名詞ヲ承ケバノ接續辞ヲ  
從ヘタルナリ。恥テアリテ且格ル。(名詞ヲ承

ケテ連用ノ活ヲ為ス) 朋遠方ヨリ来レル  
アリ (動詞状ノ名詞ヲ承ケテ截断ノ活ヲ為  
ス) 國ニ人アリ (截断) 行餘カアル氏ハ則  
以テ文ヲ學ブ (第四轉ノ辞ニシテ名詞ヲ承ケ  
邦道アレバ廢レズ (第五轉ノ辞ガバノ接  
續辞ヲ從ヘタルナリ)

第三種ノ辞

ザラ。ザリ。ザル。ザレ。ズ。又。ジ。  
此ノ辞ハ動詞ニ附キテ事物ノ未然ラザル  
ハ其ノ為サイルトヲ形状スルモノナレバ第二



種ノ辞ニ及スルモノナリ。不成法ノ句ハ此ノ辞ヲ借ラザレバ言フ一能ハズザラザリザルザレハズアラズアリズアルズアレノ約ナリズ相似タリジハズアラウノ意俚言ノマイト云フニ同ジ其ノ作例左ノ如シ。

馬ニツ之ヲ言ハザラム (ムハ助動辞ナリ) 見ザリキ言ハザル片ハ為サザレバ成ラズ 来又人ヲ待ツ 未之アラジ。

(側注) ネハ變化ヲ示ス為ニ圖中ニ出セルモ今体文ニ用ナケレバ此ノ所ニ省ケリ。ジハ變化

セザルニヨリ圖ニ示サミルモ今文ニ用ル一モアレバ此ノ所ニ出ス。

法則 第三種ノ形状辞ハ第一轉ナル動詞及ビ第二種ノ形状辞ヲ承ケテ虚否ノ作用ヲ顯ス。試ニ右ノ法則ニ就キテ其ノ例ヲ舉ダレバ。動詞ニテハ行カザラム。行カザリキ。行カザルモノ。行カサレバ。行カズ。行カヌ日。行カジ。見ザラム。見ザリケリ。見ザル顔。見ザレバ。見ズ。見又顔。恨ミザラム。恨ミザリシ。恨ミザルモノ。恨ミザレバ。恨ミズ。恨ミヌモノ。受ケザラム。受ケザリキ。受



ケザルモノ受ケザレバ。受ケズ。受ケヌ人。下ニ来  
 ズ。来ヌ人。来ジ。格欲セザラム。欲セサリキ。欲セザ  
 ルモノ。欲セザレバ。欲セズ。合成第形状辞ヲ承ク  
 ルモノニテハアラザラム。アラザリキ。アラザル  
 モノ。アラザレバ。アラズ。アラヌ。アラジナドノ  
 如シ。

(側注)ザルト又ハ意義相同ジクノ語氣同一ナ  
 ラズ故ニ一編ノ文章中ニ並べ用ルルアルハ  
 陋ナリト知レ。

第四種ノ辞

ナラ。ナリ。ナル。ナレ。此ノ辞ハ名詞ヲ承  
 ケテ其ノ物ハ此ニアリ。其ノ物ハ此ニアラズ。他  
 ハ即是ナリナド、解釋スル辞ナリ。第二種ナル  
 アリニ似テ同ジカラズ。アリハ一物(乃一念)ニ止  
 リ。ナリハ二物(乃兩念)ニ涉ル。譬へバ茶アリト言  
 へバ茶ノ存在ヲ示ス。ニテ一物ニ止リ。茶ハ飲  
 料ナリト言へバ茶ト飲料トノ二物(乃兩念)ニ涉  
 ルガ如シ。其ノ故ハナラナリナルナレハ原ニア  
 ラニアリニアルニアレノ約ナレバナリ。俚言ニ  
 ハ之ヲデアアルギヤト云フ。



其ノ名詞ヲ承クル例左ノ如シ。

上ニ居テ寛ナラズ。其ノ不遜ナラムヨリハ

寧陋シカレ。奢ハ則不遜ナリ。寛ナル片ハ

則衆ヲ得公ナル片ハ則民悦ブ。學ビテ優ナ

レバ則仕フ。鳳ナレヤ鳳ナレヤ。

ナリハ時トシテハ動詞狀ノ名詞動詞形狀辞ヲ

承クルヲアリ。其ノ例左ノ如シ。

落ツルモノナリ。受クルモノナリ。幸ニシ

テ免ル、モノナリ。以上動詞狀ノ名詞落チタルナ

リ。受ケタルナリ。詞ヲ承クルモノ幸ニシテ免レタルナリ。

以上形狀辞ヲ落ツルナリ。受クルナリ。

幸ニシテ免ル、ナリ。以上動詞ヲ

**(側注)**此ノナリ古文ニハナリケリト重複シテ

用ルヲ常トシナリトノミ單一ニ用ルハ稀

ナリトゾ

第五種ノ辞

タラタリ。タル。タレ。此ハ原テアラテア

リテアルテアレノ約リタルナリ。俚言ノテアル

テラルト云フニ同ジ今一例ヲ舉グルニ左ノ如

シ。



左衛門ノ大夫家廣承リテ子供具シテ固メタリ。  
衣ヨモホ干シタリ。  
(固メタリハカタメテオルト

云フ。干シタリハホシテアルト云フナリ。

尚動詞第二過去ノ條ヲ参考スベシ。

第一種ノタリタルハトアリトアルノ約ニシテ

体言ヲ承ケ此ノタリタルハテアリテアルノ約

ニシテ用言ヲ承ク此ノ別相混ズル勿レ。

ケラケリケルケレ。此ハ原キヘアラキ

ヘアリキヘアルキヘアレノ約リタルナリ。俚言

ノタリギヤタモノヂヤト云フニ同シ。過ギシ

ヲ見聞シテ感スル意アリ。今一例ヲ舉グルニ左  
ノ如シ。

松浦黨同心シテ推シ渡ル凡聞エケリ。  
(尚動

詞第三過去ノ條ヲ参考スベシキヘトハ來キ經

ノ謂ナリ。

法則。第五種ノ形状辞ハ第二轉ナル動詞及ビ

形状辞ヲ承ク。

第六種ノ辞

ベク。ベン。ベキ。ベカラ。ベケレ。

此ノ辞ハ多ク斯アルベシト推量シテ言フ所ナ



レ一概ニ拘泥シ難シ。ベシハ俚言ノ「ネバナラ  
 又ハズソウナ」チヤラウ「くく」ガデケルト云フ  
 意ニ解スベシ。ベカラベカリベカルハ「ベクアラ  
 ベクアリ」ベクアルノ約ナリ。唯「ベケレハ」ベクア  
 レノ約リテベカレト為リ變ジテベケレト為リ  
 タルナリ。ベカリベカルノ二辞ハ今文ニ用ル  
 少シ。圖中ニ出シハ變化又ベカラム變ジテベ  
 ケムト約リタル辞アリ。知ラザルベカラズ。助ハ  
 辞ナ  
 ナリ。ナル。ナレ。メリ。メル。メレ。

此ノ六ノ辞ハ今文ニ必用ナラズ。然レモ試ニ聊  
 之ヲ解釋セバ。此ノナリハ眼前ニ相對スルモノ  
 ニ附キテ少シク怪ム意ヲ帶ブ。俚言ノ「ワイト云  
 フニ同ジ。故ニ聲スナリト云フハ」コエスルワイ  
 ト云フ。聞ユナリハ「キユルワイト云フ」ナ  
 リ。此ノ辞ニナラト活ク「ナシ」メリメルメレハ  
 事物ノ概畧ヲ推量シテ云フ意ニシテナリノ目  
 前ニ見聞セシマ、ヲ語ルトハ異ナリ。メリハ俚  
 言ノ「オモムキヂヤ」ヤウスヂヤ「ナド、云フニ同  
 ジ。



法則 第六種ノ形状辞ハ第三轉ナル動詞及第  
四轉ナル形状辞ヲ承ク。

第七種ノ辞

マジク。マジ。マジキ。マジケレ。此ハベク  
ベシナドノ反語ニシテ俚言ノソモナイハズデ  
ナイト云フニ同ジ。今体ノ文ニハベカラズベカ  
ラザルノ方ヲ用テマジマジキノ方ヲ用ズ。唯手  
簡文ニ用ルノミナリ。手簡ニ即此ノ辞ナリ。書クマジケ  
レハマジクアレ約リテマジカレト為リ變ジテ  
マジケレト為リタルナリ。

法則 第七種ノ形状辞ハ第三轉ナル動詞ヲ承  
ク。

助動辞

助動辞ハ動詞ヲ承ケテ其ノ活ヲ助クルモノナ  
リ。乃左ノ如シ。

- ム。シメ。シム。シムル。シムレ。第一轉
  - キ。シ。シカ。ヌ。ヌル。ヌレ。
  - ツ。ツル。ツレ。第二轉
  - カ。第四轉
- (第三轉) ヤ



動詞ノ第一轉ヲ承クル辞

ム。俚言ニ「ウ」ト呼ベルモノナリ。故ニ行カム去  
ラムハ俚言ノ「行カウ」去「ウ」ト云フニ同ジ。ルテ  
自己ニ思ヒ立ツ片或ハ他ノ事ヲ推量スル片ニ  
用ル辞ナリ。例ヘバ 我ハ今行カム。 彼ハ已ニ  
到着セム。 ナドノ如シ。

(側注) 通俗多ク此ノムヲ「ト」書ケリ然レドム  
ト書クヲ正シトス。○第一轉ノ動詞ニムノ助  
動辞ヲ添ヘテ第一未來ノ時ヲ為ス「ト」中卷ニ  
出セリ参考スベシ。

シム。シム。シムル。シムレ。 四段。左行奈行  
ノ變格。及ビ合成第二格ナル動詞ヲ承ケテ他ヲ  
然スル詞ヲ為ス。又時宜ニヨリ一段。中二段。下二  
段ノ動詞ヲモ承クル「ト」アリ。尚他動詞第三種ノ  
條ヲ参考スベシ。  
(側注) 本文ノ外ニ第一轉ヲ承クルモノニテナ  
ム「マシ」アリ。唯、今文ニ必用ナラザルユエ之ヲ  
省クノミ。試ニ解釋スレバナムハ俚言ノ「テ」ク  
レヨト云フニ同ジ「マシ」ハ將ニ然セムトスル  
意ナリ。

動詞ノ第二轉ヲ承クル辞



キ。シ。シカ。キハ過ギタルヲ直言スル辞ナリ。唯、多ク人ニ對スル片若ハ問ニ答フル片ニ用ル。俚言ノ「タ」ゾト云フニ同ジ。シハ事物ノ過ギ去リテ跡形モナキヲ云フ。俚言ノ「タ」ト云フニ同ジ。シカハ為シタルヲ思ヒ逆ヘテ云フ辞ナリ。俚言ノ「タ」デアツタノニト云フニ同ジ。其ノ例。アリキ「ア」ゾッタ行キシ「イ」ツ行キシカ「イ」ツ「ア」ナドノ如シ(尚、動詞第三過去ノ條ヲ參考スベシ)

(側注)シカヲ今文ニシガト濁ル「ア」リ。是大ニ

非ナリ。シガト言ヘバ希望ノ意ニテ別ノ辞ト為ルナリ。

下ノ圖中ニ掲ゲタルケハ助動辞ノムヲ從ヘテ更ニケムケメナド、活動スル「ア」レ「レ」今文ニ用ル「レ」稀ナレバ此ノ所ニ畧ス。

又。スル。又レ。又ハ往ノ意ナリ。俚言ノ「テ」シマウ「タ」ト云フニ同ジ。又ル「レ」モ粗、相似タリ。(尚、動詞第三過去ノ條ヲ參考スベシ)

ツ。ツル。ツレ。ツハ俚言ノ「タ」ゾト云フニ同ジ。ニ比スレバ急切ニシテ勢強シ。故ニ心得ツ



ハコ、口エタゾト言フガ如シ。  
又ヌルヌレハ自然ノ動詞ヲ承ケ。ツツルツレハ  
作為ノ動詞ヲ承クル。是其ノ大畧ナリ。

(側注)

第二轉ヲ承クル助動辭ニテ本文ニ舉ゲ

ザルモノニハ又ノ轉ジタルナニアリ。ツノ轉

ジタルテアリ。條ニハ接續辭ノケキシノケアリ。

ツ、ナバシガガテラアリ。又テケナニムメハ

連リタルテムテメケムケメナムナメアリ。ニ

テニキシシカケムケリケルケレノ連リタル

ニキニシニシカニケムニケリニケルニケレ

テキテシテシカテケムテケリテケルテケレ

ナドアリ但今文ニ用井ザルユエ本文ニ舉ゲ

ザルナリ。其ノ内一ニヲ解釋スレバツ、ハ重

ネ々々スル意ナリ。シガハ希望ノ意ニシテ但

言ノタイモノヂヤト云フニ同シ。

動詞ノ第三轉ヲ承クル辭

ヤ。疑問ノ辭ナリ。カ<sup>次</sup>スニ比スレバ少シク緩

ナルヲ覺ユ。カハ決定シ難キヲ或ハ道理ニテ問

ヒ詰ムルヲニ用井ヤハ更ニ解セザルヲニ用ル。

後置辭ノヤト異ナルヲナシ。唯此ハ下ニ附キ彼



ハ上ニ懸ルト云フノ別アルノミナリ。

側注第三轉ヲ承クル辞右ニテ盡クルニ非ズ。

ラムラメラシカシベミベラガネガニアリ。又

禁止ノナアリ。歎息ノヤモカヨアレ但今文

ニ用井ザルユエ。本文ニ舉ゲザルナリ。試ニ其

ノ一ニヲ解釋スレバラムラメラハ事物ノ大概

ヲ推量シテ云フ辞ナリ。現前ト幽冥トヲ兼ヌ。

譬へバ人ヲ視テ其ノ情意ヲ察シ花ヲ視テ其

ノ開落ヲトフガ如シラムハ俚言ノデアラウ

ラメハ俚言ノデアラウズレト云フニ同ジ。ラ

シハ俚言ノラシイサウナト云フニ同ジカシ

ハ俚言ノタカヨイハサテト云フ意ナリ。

動詞ノ第四轉ヲ承クル辞

カ。疑問ノ辞ナリ。後置辞ノカト異ナルヲナシ。

唯此ハ下ニ附キ彼ハ上ニ懸ルト云フノ別ア

ルノミナリ。前條ヤノ所ヲ参考セヨ。

助動辞活動ノ圖

助動辞ニ静止シテ單獨ナルモノアリ活動シテ

變化スルモノアリ。静止スルモノハ之ヲ圖スル

ニ及ハズ。唯其ノ活動スルモノヲ掲ゲテ其ノ變



化ノ次叙ト其ノ動詞ヲ承ケテ截断シ。或ハ連続スル所以トヲ示ス。左ノ如シ。

(側注)メ ハムノ變化セシナリ。今文ニ用井ザル	ナ		テ		ケ		シ		連 用 截 断 連 体
	○						メ	○	
	○		ニ	テ			シ	メ	
	○				○		シ	メ	
	ラ	ム	又	ツ	キ	シ	ム		
	ラ	ム	又	ツ	シ	シ	ム		
	ラ	ム	又	ツ	シ	シ	ム		
	ラ	メ	又	ツ	シ	シ	ム	メ	

ユエ前條ニ省キタルナリ。テハ接續辞ノ部類ニ出セド其ノ變化ヲ示スガ為ニ假ニ圖中ニ載スルナリ。○ハ辞ノナキヲ示スナリ。

接續辞

接續辞ハ動詞形容詞或ハ形状辞ヲ承ケテ下ノ詞へ連接セシムルモノナリ。乃左ノ如シ。

テ。ト。ト。ハ。バ。ド。ド。ハ。

法則 一 第二轉ノ動詞。形状辞。形状辞ハテ承ケト。二 第三轉ノ動詞。形容詞。及ビ形状辞ヲ



承ケド<sub>レ</sub>ハ第五轉ノ動詞。形容詞及ビ形状辞ヲ承ケバハ第一轉及ビ第五轉ノ動詞。形容詞及ビ形状辞ヲ承ク。

(側注)第二轉ノ動詞ト云フハ動詞ノ第二轉ト云フニ異ナラス。餘ハ準ジテ知ルベシ。凡<sub>レ</sub>ハトモドモノ畧字ナリ。

テハ譬ヘバ事ヲ作シテ猶<sub>ホ</sub>痕跡ノ遺ルガ如キ様<sub>ヤ</sub>子ノ辞ナリ。其ノ例太公望散<sub>ス</sub>宜生ノ若キハ則見<sub>レ</sub>テ之ヲ知ル。孔子ノ若キハ則聞<sub>キ</sub>テ之ヲ知ル。ナドノ如シ(尚<sub>ホ</sub>動詞第一過去ノ條ヲ參考

スベシ)

シテニシテニテシカシテ。

是皆集合接續辞ナリ。其ノ接續辞タルユエハ蓋

テノ存スルニ因ルナリ。シカシテハ然<sub>カ</sub>為<sub>レ</sub>テナリ。

音便<sub>シ</sub>カウシテト言フ。今文ニハ多ク而<sub>シテ</sub>用

ル。

集合接續辞ノ例左ノ如シ。

君子敬シテ失<sub>ハ</sub>ナク。人ト恭シクシテ礼アラバ

四海ノ内皆兄弟タラム。必止ム<sub>コト</sub>ヲ得ズシ

テ斯ノ三ノ者ヲ去<sub>レ</sub>テバ何ヲカ先ニセム。片



言ニシテ以テ獄ヲ折ム。質直ニシテ義ヲ好  
ミ。言ヲ察ニシテ色ヲ觀ル。

側注シテニシテノシハ動詞格左行変ナリ。

テ。バシテノ約ニシテ第一轉ノ動詞ヲ承ク。此  
ハ今文ニ心用ナラズ。其ノ例 打タデ已ム。ノ  
如シ。

ト。動詞ノ截断言。命令言。及ビ形容詞。助動辭。形  
状辭ノ截断言ヲ承ケテ詞或ハ句ノ限界ヲ指シ  
示ス辭ナレバ。接續辭ト稱スルヨリハ。寧截断辭  
ト名クルト妥當ナルニ似タリ。其ノ例左ノ如シ。

彼ハ洋書ヲ讀ムト聞ケリ。動詞ノ截断 此處

ヲ何如ナル家ナリト思フゾ。形狀辭 アル日

真ニ狼来リテ此ノ男兒ヲ食ハムトス。助動辭

男兒ハ大ニ呼ビテ狼来レリ救ヒ給ヘトノ動詞

之ヲ指シ承ケステ云ヘ第五轉ノ動詞誰モ亦

例ノ虚言ナルベシト形狀辭テ下連マ之ヲ救フ

モノナカリシユエ云々中畧故ニ平生戲ニモ

虚言ヲ以テ人ヲ欺クモノハ適眞實ノトヲ話

ス動詞信ト後置辭ノ為スモノアラザン

バ常ニ慎ムベキナラズヤ。因ニ云ク信トハ



ラタルナ

接續辞ノトモ後置辞ノトト大ニ異ナルトナシ。  
 唯此ノトノ下ニハ云フ思フ見ル聞ク為スナド  
 ノ意ヲ含蓄スルトアリ。故ニトテハト云フトテ  
 氏ハト云フトモトヨハト云ヘヨトゾハトイフ  
 一ヂヤゾノ意ニシテ解スベシ。  
 氏 現在ニ居テ假ニ未来ノ事ヲ想像シテ論ズ  
 ル意アリ。トイフトモノ義ナリ。其ノ例如周公  
 ノ才ノ美アリ氏設驕且吝ナラシメバ其ノ餘ハ  
 觀ルニ足ラザルノミ如シ。

(側注)アル氏ト書ク氏ハアルハ形状辞第四轉  
 ナルユエニ誤ト為ル。是ニ因リテアリ氏ト第  
 三轉ノ方ヲ用井タルナリ。法則ニ云ク氏ハ第  
 三轉ノ形状辞ヲ承クト。  
 ババノ辞。第一轉ノ動詞及ビ形状辞ヲ承クル  
 氏ハ未來ヲ語ルトニ為リ。第五轉ノ動詞及ビ形  
 状辞ヲ承クル氏ハ過去ヲ語ルトニ為ル。是ノ故  
 ニ甲ハ第一未來ニ出シ。乙ハ第一過去ニ出セリ  
 (尚)動詞ノ條ヲ参考スベシ。  
 法則 第一轉ヲ承ケタルバノ下ハ助動辞ノム



ニテ結ビ第五轉ヲ承ケタルバノ下ハ動詞形容詞及ビ形状辭ノ截断言ニテ結ブ。

右ノ法則ニ就キテ左ニ一ニ例證ヲ舉グ。

君子之ニ居ラバ何ノ陋シキカ之アラム。

射バ則貫カム。以上第一轉ヲ承クルモノ行餘カアレバ

則以テ文ヲ學ブ。射レバ則貫ク。物アレバ

則アリ。以上第五轉ヲ承クルモノ

(側注) 甲ハ假リニ居ルヲ射ルニシテ言ヒ乙ハ

己アルヲ射ルノ上ニ附キテ言フナリ。

ド。 第二ニ次ノ作動ガ第一ニ次ノ作動ニ感應

セザル作動ヲ起スルニ其ノ第一ニ次ト第二ニ次トノ二句ノ中間ニ用ル辭ナリ。俚言ノケレドモト同ジ其ノ例左ノ如シ。

呼ベド應ヘズ。吹ケド散ラズ。心馬ニアラ

ザレバ視レド見エズ。聽ケド聞エズ。食ヘド其

ノ味ヲ知ラズ。(尚第一過去ノ條ヲ參考スベシ)

トイヘドモ。ハ集合接續辭ナリ。ト云ヘドモノ

集合シタルナリ。今文ニハト雖ノ字ヲ用ルモノ

多シ。乃左ニ其ノ例ヲ舉グ。



嘉肴アリト雖食ハザレバ其ノ旨<sup>ク</sup>キ<sup>ク</sup>ヲ知ラズ。至道アリト雖學バザレバ其ノ善キ<sup>ク</sup>ヲ知ラズ。回不敏ナリト雖云々

感歎辭

感歎辭ハ或ハ嘉美或ハ嗟歎或ハ痛傷或ハ憤激ナド種々ノ情ニ因リテ感發スル聲ナリ。乃左ノ如シ。  
ア、  
フ、  
カナ、  
ヤ、  
モ、  
ナ、  
ヨ、  
今文ニハ多ク嗚呼。嗟乎。噫。ナドノ字ヲ用

ル。噫ハ痛傷憤激ニ用井其ノ他ハ廣ク通ジ用ル。カナ。今文ニハ哉ノ字ヲ用ル<sup>ク</sup>アリ。此ノ辭ハ形容詞第四轉ノ詞ヲ承ク。例ヘバ 善キカナ 哀シキカナ ナドノ如シ。

(側注)善イ哀シイハ善キ哀シキノ音便ナリ。初學ノ徒此ノ音便ニ遵ハザルヲ宜シトス。ヤ。モ。ナ。ヨ。此ノ四ノ辭ハ動詞ノ第三轉ヲ承ク。ヤハ第三轉ノミナラズ第五轉ヲモ承ク。(側注)カナヲカトノミ用ル<sup>ク</sup>アリ。逝クモノハ斯ノ如キカ晝夜ヲ舍メズ ナドノ如シ。



日本文法卷ノ下終ル

# 版權免許

明治十五年二月廿日  
同十六年一月出版

著者 三重縣士族 阿保友一郎

出版人 同縣平民 豊住伊兵衛

伊勢國安濃郡津古川村  
十九番地寓居

發賣人 大坂備後町四丁目 同支店





